

官報

號外

明治四十二年三月十七日

水曜日

印刷局

○第二十五回 衆議院議事速記録第二十一號

明治四十二年三月十六日(火曜日)午後一時九分開議

議事日程 第二十號 明治四十二年三月十六日

午後一時開議

- 第一 耕地整理法改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第二 特許法改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第三 意匠法改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第四 商標法改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第五 實用新案法改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第六 外國領海產組合法中改正法律案(政府提出) 第一讀會
- 第七 砂糖消費稅法中改正法律案(本院提出)(貴族院回付)
- 第八 屠場法中改正法律案(請願委員長立川雲平君提出) 第一讀會
- 第九 獸疫豫防法中改正法律案(森田俊左久君提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十 蠶病豫防法中改正法律案(五十名提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十一 地方稅制限ニ關スル法律中改正法律案(古井由之君提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十二 貴族院及衆議院速記技手恩給並遺族扶助料ニ關スル法律案(野田卯太郎君提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十三 關稅定率法輸入稅表中改正法律案(千田名提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十四 關稅定率法輸入稅表中改正法律案(藤井君外一名提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十五 關稅定率法輸入稅表中改正法律案(藤井君外一名提出) 第一讀會ノ續(委員長報告)
- 第十六 「ローマ」字普及ニ關スル建議案(根本正君外三名提出)
- 第十七 清酒稅涵養ニ關スル建議案(中川虎之助君提出)
- 第十八 小學校教科用圖書ニ關スル建議案(早川龍介君提出)
- 第十九 帝國大學令改正ニ關スル建議案(藤澤元造君提出)
- 第二十 海外移殖民要務處理ニ關スル建議案(服部敏雄君提出)

○議長(長谷場純孝君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致シマス

(書記朗讀)

一政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

(第二號)明治四十二年度歲入歲出總豫算追加案

(特第二號)明治四十二年度特別會計歲入歲出豫算追加案

一貴族院ヨリ回付セラレタル本院提出案左ノ如シ

砂糖消費稅法中改正法律案

一貴族院ハ本院ノ送付ニ係ル政府提出造船獎勵法中改正法律案、遠洋航路補助法案、本院提出印紙稅法中改正法律案ヲ可決シタル旨同院ヨリ通牒ヲ受領セリ

一議員ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

屠場法中改正法律案

提出者 請願委員長 立川 雲平君

一武藤金吉君外一名ヨリ蠶煙毒被害ニ關スル質問主意書ヲ提出セラレタリ

(左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

蠶煙毒被害ニ關スル質問主意書

右成規ニ據リ提出候也

明治四十二年三月十六日

提出者 武藤 金吉 高山 長幸

贊成者 佐藤 虎次郎 外三十四名

一政府ハ蠶毒調查會ヲ設置シ如何ナル方針ニ據リテ調査ヲナシ蠶業ト農業トノ衝突ヲ解決シ其被害ヲ救済セントスルヤ

一政府ハ全國各蠶山ニ對シ如何ナル方法ヲ以テ蠶毒煙毒ノ豫防ヲ命令シ之レヲ取締ラントスルヤ

一政府ハ足尾小坂四坂島其他ノ銅山ニ於ケル採鑛並ニ製鍊等ヨリ森林田畑其他ニ及ボシタル蠶毒煙毒ノ被害ヲ如何ニ處分シ如何ナル方法ヲ以テ之レヲ損害ヲ賠償セントスルヤ

右及質問候也

(左ノ報告ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

一去ル十三日議長ニ於テ選定シタル委員左ノ如シ

東京市制案

高橋 光威君

小久保 喜七君

飯田新右衛門君

森 肇君

福田 又一君

稻茂登三郎君

神前 修三君

菊池 侃二君

德田 讓甫君

關 直彦君

竹内 正志君

尾崎 行雄君

森久保 作藏君

坂本 元明君

早川 龍介君

久保田 與四郎君

磯部 保次君

遠洋漁業獎勵法中改正法律案外一件

三浦 覺一君

長島 覺太郎君

武滿 義雄君

安田 勳君

堀江 覺治君

石田 平吉君

貴族院及衆議院速記技手恩給並遺族扶助料ニ關スル法律案

立川 雲平君

野田 卯太郎君

岡井 藤之丞君

人事訴訟手續法中改正法律案

江原 節君

山岡 國吉君

武田 貞之助君

水會長長兩川分水堤開門設置ニ關スル建議案

古井 由之君

山際 敬雄君

荒川 五郎君

京都府丹後國舞鶴開港ニ關スル建議案

望月 圭介君

岡田 泰藏君

奧田 柳藏君

織物消費稅取扱ニ關スル建議案

武藤 金吉君

長 晴登君

木村 省吾君

滿洲租借地ニ於ケル金融機關設立ニ關スル建議案

森 本 駿君

八木 逸郎君

堀江 覺治君

一委員長及理事左ノ通り當選セラレタリ

汽船「トロール」漁業取締ニ關スル建議案

委員長 武滿 義雄君

議員長 翠川 鐵三君

產業組合法中改正法律案

委員長 松浦 五兵衛君

東京市制案

委員長 菊池 侃二君

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

大井 卜新君

荻野 芳藏君

大久保 升太郎君

佐藤 貞雄君

齋藤 巳三郎君

小泉 又次郎君

吉植 庄一郎君

水野 正己君

花井 卓藏君

福岡 精一君

大熊 三之助君

横山 金太郎君

森 茂生君

福井 三郎君

高木 益太郎君

岩田 信君

竹田 文吉君

小寺 謙吉君

山本 悌二郎君

綾部 惣兵衛君

堀谷 左治郎君

村松 愛藏君

藤井 善助君

佐々木 安五郎君

藤井 善助君

佐々木 安五郎君

藤井 善助君

佐々木 安五郎君

藤井 善助君

佐々木 安五郎君

藤井 善助君

佐々木 安五郎君

藤井 善助君

佐々木 安五郎君

藤井 善助君

佐々木 安五郎君

藤井 善助君

佐々木 安五郎君

藤井 善助君

佐々木 安五郎君

藤井 善助君

佐々木 安五郎君

藤井 善助君

佐々木 安五郎君

藤井 善助君

佐々木 安五郎君

藤井 善助君

佐々木 安五郎君

藤井 善助君

佐々木 安五郎君

藤井 善助君

佐々木 安五郎君

藤井 善助君

佐々木 安五郎君

藤井 善助君

佐々木 安五郎君

藤井 善助君

佐々木 安五郎君

藤井 善助君

佐々木 安五郎君

藤井 善助君

佐々木 安五郎君

藤井 善助君

佐々木 安五郎君

藤井 善助君

佐々木 安五郎君

藤井 善助君

佐々木 安五郎君

藤井 善助君

佐々木 安五郎君

遠洋漁業獎勵法中改正法律案外一件

委員長 細川 義昌君

理事 (三浦 覺一君)

貴族院及衆議院速記技手恩給並遺族扶助料ニ關スル法律案

委員長 野田 卯太郎君

理事 (高木 正年君)

人事訴訟手續法中改正法律案

委員長 塚田 啓太郎君

理事 水野 正己君

水會長長兩川分水堤開門設置ニ關スル建議案

委員長 福井 三郎君

理事 武田 貞之助君

滿洲租借地ニ於ケル金融機關設立ニ關スル建議案

委員長 村松 愛藏君

理事 (中村 豐次郎君)

京都府丹後國舞鶴開港ニ關スル建議案

委員長 望月 圭介君

理事 原田 十衛君

織物消費稅取扱ニ關スル建議案

委員長 古賀 庸藏君

理事 小寺 謙吉君

理事 網野 次郎君

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

理事

ニ移ルニ付テ唯今少々差支ガゴザイマスカラ、ドウカ政府案ノ一番終リニ御同シテ願ヒマス

○議長(長谷場純孝君) 齋藤君カラ議事日程ノ第一ヲ委員長ノ都合ガアルカラ、第七ノ次ヘ回シタイト云フ請求ガアリマスガ、御異議アリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) クレデハ日程ノ第一ハ第七ノ次ヘ回スコトニ致シマス

○武藤金吉君 質問書ヲ提出シテアリマスガ、演説ヲ延バズ積リテアリマシタガ、幸ニ農商務大臣ガ御出席ノヤウデアリマスカラ簡單ニ説明ヲ致シタイ

○議長(長谷場純孝君) モウ議事日程ニ入リマシタカラ此次ニ願ヒマス——議事日程第二、特許法改正法律案、ウレカラ第三、第四、第五共ニ同一委員ニ付託サレタノデアリマスカラ併セテ委員長ヨリ御報告ヲ致サレマス、特別委員長佐竹作太郎君

第二 特許法改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

(佐竹作太郎君登壇)

○佐竹作太郎君 特許法外三件改正法律案ノ委員會ノ經過ト結果ヲ報告致シマス、成レバ簡單ニ報告ヲ致シタイと思ヒマスガ、本案ハ御承知ノ通り浩瀚ナル法律案デアリマスカラ委員會ノ經過ニ付テモ十分ニ注意ヲ致シタノデアリマス、經過ノ順序併セテ結果ヲ報告致シマス、先カラ暫ク御清聴ヲ蒙ヒマス、委員會ハ本月十六日第一回委員會ヲ開キマシテ委員長及理事ノ互選ヲ致シタノデアリマス、尙八日午前十時ヨリ委員會ヲ開ク豫定デアリマシタガ、出席者ガ少ナクゴザイマシテ流會ニナッタノデアリマス、九日午後一時ヨリ更ニ委員會ヲ開キマシテ、押川農商務次官ヨリ議案提出ノ理由ニ付テ詳細ナル説明ガアリマシタノデアリマス、各委員ヨリ政府委員ニ對シテ詳細説明ヲ求メタノデアリマスガ、然ルニ該法律案ハ權利者ノ保護ヲ完全ニ確保シタル共ニ、一般世人ノ利益ヲ保全シ、權利者ノ負擔ヲ輕減シ手續ヲ簡易ニスル等重要適當ト認ムル改正ノ廉ガ少クナイト云フコトハ委員會多數ノ認ムル所デアリマシテ、條文ニ付テ十分ナル調査ヲ致シタイト云フコトハ委員會一致ヲ以テマシテ、便宜上特別委員五名ヲ選定致シマシテ、詳細ノ調査ヲセシムルコトニ致シタノデアリマス、其委員ハ糖澤總明君、高木益太郎君、西村治兵衛君、關直彦君、松田源治君、右五名ノ特別委員ハ本月十日午前十時ヨリ開會ヲ致シマシテ、法案全部ニ互リマシテ詳細調査ヲ遂ゲマシタノデアリマス、(大聲ニ願ヒマス)ト呼フ者アリ、暫ク御聴ヲ願ヒマス、(謹聽々々)ト呼フ者アリ、右特別委員會ニ於キマシテ調査ヲ遂ゲマシタ結果ヲ又更ニ本月十一日午前十時ヨリ委員會ヲ開キマシテ特別委員會ニ於ケル結果ヲ報告サレタノデアリマス、然ルニ特許法外三件ノ改正法律案ハ極メテ重要ナルモノデアリマシテ、且浩瀚ナル條文デアリマスガ故ニ、尙慎重ナル調査ヲ加ヘマシテ、一日ヲ隔テマシテ本月十二日午前十時ヨリ委員會ヲ開キマシテ、左ニ報告致シマス、修正ヲ致シタノデアリマス、第一特許法改正法律案第三條、第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加ヘタノデアリマス、(本條ニ於テ公務員ト稱スルハ刑法第七條第二項ノ公務員ヲ謂フ)斯ウ云フ修正ヲ致シタノデアリマス、第二、第十條第二項中「協議調ハサルトキハ共ニ」ト云フ字ヲ加ヘタノデアリマス、第三、第十五條第二項、第十六條、第九十七條、及第一百一條中「辯」ノ字ヲ「辨」ノ字ニ改メマシタ、第四、第三十八條第三項中「前二項ノ規定ニ依リ他ノノ特許發明」トアリマスノ「第一項又ハ第二項ノ規定ニ依リ他人ノ特許發明又ハ

ハ登録實用新案」ト云フニ改メマシタ、第五、第五十六條第二項中「付スルコトヲ」トアリマスノ「付ス」ヘキコトヲ「ニ」改メマシタ、第六、第八十三條第一項中「自ラ」ト云フ字ヲ削リマス、是デ特許法ヲ修正ハ終リマス、第一、意匠法改正法律案、第一、第二條第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加ヘマス、(本條ニ於テ公務員ト稱スルハ刑法第七條第二項ノ公務員ヲ謂フ)第二、第六條第二項中「協議調ハサルトキハ共ニ」ト云フ字ヲ「辨」ノ字ニ改メマシタ、第三、第二十九條中唯今述ベマシタ「辯」ノ字ヲ「辨」ノ字ニ改メマス、意匠法中ノ改正ハ右報告致シマシタ通りデアリマス、第三、商標法改正法律案、第一、第三條第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加ヘマス、(明治三十二年七月一日前ヨリ同一若クハ類似ノ商標ヲ善意ニ使用シタルモノ其商標ニ付登録ヲ出願シタル場合ニ於テハ前條第五號及前項ノ規定ニ拘ラス其商標ヲ登録スルコトヲ得)第二、第四條第一項中「場合ニ限リ」ト云フ字ヲ「下」ト云フ字ヲ加ヘ、(モノトスラ「コトヲ得」ト改メマシタノデアリマス、第二項中「協議調ハサルトキハ共ニ」ト云フ字ヲ「下」ト改メマシタ、第八條第一項中「場合ニ限リ」ト云フ字ヲ「下」ト云フ字ヲ加ヘマス、(モノトスラ「スルコトヲ得」ト改メ、第四、第二十八條中「辯」ヲ「辨」ニ改メ、是デ商標法改正法律案ヲ修正ヲ終リマス、第四實用新案改正法律案、第一、第二條第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ、本案ニ於テ公務員ト稱スルハ刑法第七條第一項ノ公務員ヲ謂フ、第二、第六條第二項中「協議調ハサルトキハ共ニ」ト云フ字ヲ「下」ト云フ字ヲ加フ、第三、第二十七條中「辯」ヲ「辨」ニ改メ、修正ノ箇條ハ唯今報告ヲ致シマシタ通りデアリマスガ、要スルニ本案ハ産業ノ發達、發明意匠商標等ノ保護獎勵ヲ待ツコロガ最モ多大ナルコトハ當席ニ於テ申シマス、マデモナイコトデアリマス、法律ノ實施ガ一日後レマスレバ一日ダケ國民ノ便益ヲ阻害セラル、コトデアリマスカラシテ、政府ガ會期切迫ノ場合ニ際シテ、此浩瀚ナル議案ヲ提出セラレタルニモ拘ハラズ、委員會ハ慎重審議本案全部ヲ可決致シマシタ次第デアリマス、以上報告ノ通デアリマスカラ本會ニ於テ速ニ可決確定セラレンコトヲ希望致シマス

○議長(長谷場純孝君) 此場合御諮リ致スコトガアリマス、商業會議所法中改正法律案ノ特別委員會ヲ本會議ノ時間中ニ開キタイト云フ委員長カラノ請求ガアリマス、許可シテ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 許可スルコトニ致シマス、先ツ日程第二、特許法改正法律案政府提出第一讀會ノ續ヲ議題ト致シマス

○恆松隆慶君 直チニ二讀會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○議長(長谷場純孝君) 直チニ二讀會ヲ開クト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナイト認メマスカラ直チニ二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ致シマス

特許法改正法律案

○恆松隆慶君 二讀會ヲ省略シテ此二讀會ニ於テ委員長報告通り確定サレンコトヲ望ミマス

(賛成々々ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 三讀會ヲ省略シテ、二讀會ニ於テ委員長報告通り云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナイト認メマスカラ其通り決シマス、本案ハ是ニテ確定致シマス、日程第三、意匠法改正法律案政府提出、第一讀會ノ續ヲ議題ト致シマス

第三 意匠法改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

○恆松隆慶君 是モ直チニ二讀會ヲ開ケレンコトヲ望ミマス

○議長(長谷場純孝君) 直チニ二讀會ヲ開クト云フコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナイト認メマスカラ、直チニ二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス

意匠法改正法律案

第二讀會、確定議

○恆松隆慶君 二讀會ヲ省略シテ二讀會ニ於テ確定サレンコトヲ望ミマス——委員長報告通

○議長(長谷場純孝君) 三讀會ヲ省略シテ二讀會ニ於テ、委員長報告通確定スルト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナイト認メマスカラ其通り決シマス、本案ハ是ニテ確定致シマス

○恆松隆慶君 第四第五ハ一括シテ議題トサレンコトヲ望ミマス

○議長(長谷場純孝君) 日程第四、商標法改正法律案、政府提出第一讀會ノ續ヲ議題ト致シマス

第四 商標法改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

○恆松隆慶君 直チニ是モ二讀會ヲ開ケレンコトヲ望ミマス

○議長(長谷場純孝君) 直チニ二讀會ヲ開クト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナイト認メマスカラ直チニ二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ニ供シマス

商標法改正法律案

第二讀會、確定議

○恆松隆慶君 是モ直チニ二讀會ヲ開ケレンコトヲ望ミマス——委員長報告通

○議長(長谷場純孝君) 三讀會ヲ省略シテ二讀會ニ於テ、委員長報告通確定スルト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナイト認メマスカラ其通り決シマス、本案ハ是ニテ確定致シマス、日程第五、實用新案法改正法律案、政府提出第一讀會ノ續ヲ議題ト致シマス

第五 實用新案法改正法律案(政府提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

○恆松隆慶君 是亦直チニ二讀會ヲ開ケレンコトヲ望ミマス

○議長(長谷場純孝君) 直チニ二讀會ヲ開クト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ
〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕
○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナイト認メマスカラ、直チニ二讀會ヲ開キ、議案全部ヲ議題ト致シマス

實用新案法改正法律案

第二讀會、確定議

○恆松隆慶君 是モ二讀會ヲ省略シテ、二讀會ニ於テ確定サレンコトヲ望ミマス、委員長報告通

○議長(長谷場純孝君) 三讀會ヲ省略シテ二讀會ニ於テ委員長報告通確定スルト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナイト認メマスカラ其通り決シマス、本案ハ是ニテ確定致シマス、日程第六、外國領海水產組合法中改正法律案、政府提出貴族院送付、第一讀會、議案ノ朗讀ヲ省略致シマス

第六 外國領海水產組合法中改正法律案(政府提出)

第一讀會

外國領海水產組合法中改正法律案

第五條 削除

第六條 第四條ノ規定ニ違反シタル者ハ千圓以下ノ過料ニ處ス

〔石井菊次郎君登壇〕

○政府委員(石井菊次郎君) 本案提出ノ理由ヲ概略申上ゲマス、外國領海水產組合法ノ第四條及第五條ニ依リマス、外國領海ニ出漁スル帝國ノ漁業者ハ組合ヲ設ケルコトヲ得ル、而シテ此組合ノ成立シマスニハ各漁業者ハ是ニ加入スベシト加入ヲ強制シタルニシテ、是ガ第四條デゴザイマス、而シテ此組合ノ成立シタル上ニ於テハ、組合員同ノ目的ヲ以テ同方面ニ出漁スルコトハ組合員デナケレバ出來ナイコトニナリ、又漁具或ハ船舶ヲモ其方面ニ回送スルコトハ出來ナイト云フコトニナリ、又我國ノ漁業者ニ對シマシテモ無益ナル拘束ヲ加ヘマシテ從テ其不便ヲ與ヘルト云フ實狀ガゴザイマス、サリテガラ此外國領海水產組合法ノ成立シタ當時、即チ明治三十五年頃ニハ斯ル規定ハ實ニ我漁業者ノ利益ヲ維持シ、及之ヲ防衛スルコトニ付テ已ムヲ得ヌ事情ガアリマシタノデアリマス、然ルニ其後帝國政府ト外國政府ト間ニ漁業ノ協約モ締結致サレマシテ、漁業ニ關スル協定モ成立ラ見ルコトガ出來マシテ、今日ハ帝國ノ漁業者ハ安心シテ外國ニ出漁致シマシテ、外國政府ノ法令ノタメニ利益ヲ侵害セラル、ト云フ心配ハ、先ヅナクナツタヤウニナツテ來タノデアリマス、既ニサウナレハ斯ル窮屈ナル規定ハ一日モ早く削除シタ方ガ外國ノ政府及人民ハ勿論、我漁業者ニ取リマシテモ極メテ便利ナル次第デゴザイマス、是レ外國領海水產組合法ノ第五條ヲ削除スル理由デゴザイマス、之ヲ削除シマスルト云フト、當然ノ結果トシテ其第六條ノ末條ニ於テ必要ナル變化ヲ施ス必要ガゴザイマス、第八條ハ第五條ノ削除ノ結果トシテ、其罰ニ於テ其高ヲ修正シタダケデゴザイマス、本案ハ極メテ簡單ナルモノデゴザイマス、御審議ノ上協賛ヲ願ヒマス

第七 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ委員ノ選舉

リマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ハナイト認メマスカラ其通り決シマス、是ニ於テ日程ノ第一、耕地整理法改正法律案政府提出第一讀會ノ續キテ議題ト致シマス

第一 耕地整理法改正法律案(政府提出) 第一讀會ノ續(報告)

此場合ニ政府ニ質問ヲ致シテ言明ヲ求メテ置キタイコトガアリマス、此

耕地整理法ハ誠ニ地方ニ大切ノ事業ヲ成功スルタメノ法律デゴザイマスカラ、之ニ與フ
ル資金ノ供給方法ニ付テ質問ヲ致スノデアリマス、先般豫算ヲ議スルトキニ當ツテ政府ガ
此度貯金ヲ獎勵シテ盛ンニ地方ノ金ヲ郵便ニ集メルニ付キマシテハ、地方ノ資金ヲ減
スル虞ガアリマスカラ、其貯金シタル高ノ——増加シタル高ノ半バヲ地方事業ニ使
用スベク相談ヲ致シテ折合ツタノデアル、アノ貯金ニ依ツテ得ルコロノ金ヲ農工銀行
トカ、勸業銀行トカ、其他ノ銀行ノ手ヲ經テ此耕地整理ノ資金ニ貸出スノ途ガアルコ
ト、吾々ハハ、信ジテ居リマシタガ、委員會ノ經過ニ付キマシテハ是ガ疑問ニナツテ
居ルサウデアリマススカラ、此際是非土地整理ノ如キ資本ニハ此金ヲ供給セラル
ベクシテ貰ヒタイ、此希望ヲ持ツノデアリマスガ、政府ハ同ジ考デアラウト思
ヒマスケレドモ、此際言明ヲ求メマス

(政府委員若槻禮次郎君登壇)

○政府委員(若槻禮次郎君) 唯今御尋ニナリマシタコトニ御答ヲ申上ゲマス、貯金ノ獎勵ニ依リマシテ中央ニ集ルベキ金ノ幾部分ヲ地方ニ殘シマシテ、資金ノ集中ヲ防グベキト云フコトニ付テハ公共團體ニ貸付ケテ地方ニ殘ス方ガ宜シイト云フ考ニナッテ居ルノデアリマスガ、併ナガラ資金ノ許シマス場合ニ於テハ耕地整理組合ニモ融通シテ宜カラウト思ヒマス

○議長（長谷場純孝君）委員長齋藤圭次君

〔齊藤珪次君登壇〕

○齋藤珪次君 耕地整理法改正法律案ノ經過及結果ヲ御報告致シマス 本案ハ御覽ノ通り浩瀚ノモノデアリマシテ、且又目下ノ我國情ニ徴シマシテ利源ノ開發トカ、農産ノ増殖等ニ付テ願ミマスレバ是モ急要ノ案デゴザイマス、然ルトコロガ此案ノ提出ガ政府ニ於テモ調査ノ結果デアリマヒウガ、甚ダ會期切迫ノ場合ニ提出致シマシタメニ頗ル其調査上ニ苦ミマシタ、サリナガラ 委員諸君ハ非常ナ御精勵ヲ以テマシテ日々御盡瘁ヲ下サレタ結果 委員會ヲ開クコト都合七回ニ及ヒマシテ、且進行上特別委員等モ設ケマシテ逐條審議討論モ致シ、又質問ノ如キニ至リマシテモ六回モ質問ヲ致シタ次第デゴザイマシテ、大ニ其要領ヲ得タ次第デゴザイマス、而シテ此改正案ハ名ハ改正案デゴザイマスルガ、餘程ニ改善及進歩ヲ加ヘタト申シマヒウカ、誠ニ大改良ヲ致シテ居ルノデアリマシテ、是ハ我耕地整理施行者ニ取リマシテハ餘程ノ便利デアラウト思フ、又將來ニ之ヲ企畫スル上ニ於テモ甚ダ好都合デアラウト信ジマスルコトデアリマスカラ、ドウカ暫ク私ニ此改正ノ要旨及修正ヲ致シマシタルコロノ趣旨ヲ述ベルトコロノ 時間ヲ割

愛ヲ願ヒタウト存シマスル（謹聽）ト呼フ者アリ）先ヅ第一ニ正誤ヲ御願申シテ置キマスガ、ツレハ印刷ノ前ニ於キマシテ少々誤認ガゴザイマシタ、即チ修正致シマシタ、第九十五條ノ第一行目ニ本法第一條、第二條、第四條トアリマシテ其次ニ第五條ト云フコトガアリマス、其第五條ナル三字ハ當然削除致スベキ筈ノモノデアリマシタノガ、遂ニ落チテ居リマシタタメニ是ハ正誤モ致シテ置ク次第デゴザイマスルガ、免ニ角法律ノ條文ニ大關係ヲ持ツ重大ノ事柄デゴザイマスカラ、特ニ茲ニ正誤ヲ明言致シテ置ク次第デゴザイマス、ツレカラ修正ハ全體百餘條ニ渉ル中デゴザイマスガ、修正致シマシタ重ナル箇條ハ四五箇條デアリマシテ其他小部分ノ修正ハ何レモ條項ヲ修正致シマシタ波動ガ總テニ及ンダノデアリマスカ、小修正ヲ數ヘレバ實ニ無數デゴザイマスガ、小ナル修正ヲ致シタノ、波動デゴザイマスカ、此所ハ説明ハ重ナル箇條ダケニ付テ説明ヲ申上ゲテ、サウシテ此波動ニ依ルモノハ修正案ヲ御覽下サツタ上デ御了承ヲ願ヒタク思ヒマス、第一ニ修正ヲ致シマシタノハ改正案ノ御五條ノ第二項デゴザイマス、第二項ハ整理施行地ノ所有者ニ屬スル耕地整理ニ關スル權利義務ハ土地ノ所有者權ト共ニ繼承——其繼承人ニ移轉スルト云フコトが原則ニナツテ居ル、所ガ其取除ケラ二項ニ於テ設ケテアル、即チ其取除ケナルモノハ債權者等ノ利益ヲ保護スルガタメニ、土地ノ所有者權ガ繼承者ニ移ツテモ被繼承者ナルモノハ其權利義務ニ付テ登記前ノ其義務ニ付テ尙二年間連帶シテ其責ニ任スト云フコトノ規定デアッタノデアリマス、即チ土地ノ所有者權ガ移ツテモ前ノ所有者ノマダ義務ト云フモノガ二年間續クト云フコトノ——連帶ノ義務ガ續クト云フコトノ規定デアリマシタガ、此規定ヲ設置キマスルト、折角ニ此第五條ニ於テ土地ノ所有者權ト共ニ其繼承人ニ權利義務ガ移ルト云フ判然タル規定ヲ却テ曖昧ニ致シ、又疑ハシキ點ヲ生ズルコトニナリマスルガ故ニ、是ハ却テ此二項ヲ設ケザル方が宜シイト云フコトノ議論デアリマシテ、此二項ハ削除ヲスルコトニナリマシテゴザイマス、ツレカラ第八條、第九條ニ幾多ノ小修正ガゴザイマスルガ、是ハ後ニナツテ申上ゲマスルガ、第五十二條ヨリ第五十四條マデ四箇條ヲ削除致シマシタル結果ニ依ツテ修正ヲ要スルモノデアリマシテ、即チ創立委員ノコトニ關係スル點ガ重ナルモノデゴザイマスカラ、其創立委員ナルモノガ後ノ章ニ於テ削ラレマシタ結果ガ此處ニ此修正ヲ現ハシタモノデアリマスカラ、是ハ前段法文ノ上ニ於テハ關係ヲ及ボザナイモノデゴザイマス、ツレカラ第二十六條ニ修正ガゴザイマス、而シテ第二十九條ガ削除ニナツテ居リマスル、第二十六條ノ此修正ハ第二十九條ノ削除ノ結果ヨリ來ツテ居リマスカラ、順ハ逆ニナリマスルガ、第二十九條ノ削除ノ理由ヲ申述ベレバ、第二十六條ノ修正モ亦自カラ明瞭スルコト、信ジマス、即チ第二十九條ニ於テハ耕地整理施行ノタメニ他人ニ損害ヲ加ヘタ場合ニ於テハ其保障ニ付テ共同施行者ハ連帶シテ其責ニ任スト規定ヲ此所ニ致シテ居ル、是ガ普通ノ債權トカ或ハ其他ノコトデアリマスレバ規約ニ依ツテ種々負擔ノ上ニ高下ヲスル、又厚薄ヲ付ケルト云フガ如キコトガアルノデアルガ、此他人ニ損害ヲ加ヘタト云フコトダケハ他人ノ利益ヲ保護スル點ニ於テ是ハ連帶デナケレバナラスト云フコトニ規定ヲ致シタノデアリマス、是ハ誠ニ法文ノ精神カラ申シマスレバ事業ノタメニ他人ノ人ニ加ヘタ損害ハ必ズ連帶シテ其責ニ任ズルト云フノデ、私權ヲ貴ヒ他人ノ損害ヲ救済スルト云フコトデゴザイマスガ、併ナガラ此案ヲ斯様ニセザルモ、尙マダ可ナル點ガアルノデアル、ツレハ何デアルカト申シマスルト第二十六條ニ於テ整理施行者ガ其事業ノタメニ借入レタル金額及其他ノ利息其他耕地整理施行ニ依リ生ジタル債務ニ付テハ共同施行者連帶シテ其責ニ任ストアリマスノデ、即チ此耕地整理施行ニ依リ生ジタル債務ニ付テハ共同施行者連帶シテ其責ニ任スト規定シテアル以上ハ、是於テ他人ニ損害ヲ懸ケタコトモ明瞭致スノデアラウ、強チ二十

九條ニ斯ク明記スル必要ナキカト云フ點ニ於テ即チ二十九條ハ削除ニナリマシタ、從ツテ二十九條ガ削除ニナリマシタカラ前申シタ通り二十六條ノ但書ノ中ノ第二十九條云々カラ除クガ宜シト云フノデ、是又削除ニナッタノデアリマス、ソレカラ二十六條ノ第二項ニ修正ガアリマス、是ハ前項ニ於テ共同施行者ト稱スルハ帝室及國ハ包含セズトアリマスガ、是ハ文字ノ現ハシ方ガ頗ル明瞭ヲ缺イテ居テ、此帝室及國ハ此責任ニ任ゼズト云フコトノ意味ト云フモノガ頗ル明瞭ヲ缺ク、故ニ是ハ字句ノ修正ヲスルノガ相當デアルト云フノデ、更ニ帝室及國ハ前項ノ責任ニ任ゼズト改正ヲ致シタ次第デアリマス、其他ニ何等ノ意味モナイノデアリマス、ソコデ第二十九條ヲ削除致シマシタカラ從テ以下ノ條章ガ一條ヅ、繰上グルト云フコトニナッタノデアリマス、ソレカラ尙三十四條トカ、若クハ三十五條アリニ小修正ガゴザイマスルガ、是モ第五十二條、第五十三條、第五十四條ノ削除ノ結果カラ來ルコト、御承知ヲ願フテ置キマス、以下總テ五十條マデノ修正ハ重ニ第五十二條、第五十三條、第五十四條ノ削除ニ依ル結果ト御承知ヲ願ヒマス、ソコデ今度五十條ニ修正ヲ致シマシタ、五十條ノ修正ハ殊ニ簡單ナモノデアリマスルガ、本案ノ骨子トナルモノデアリマスルカラドウカ是ハ御承知ヲ願ヒタイト思フ、ト云フノハ此耕地整理ノ組合ヲ設立セントスルコトニ於テ組合地區ノ——地域内ノ土地ノ所有者ガ三分ノ二、ソレカラ其土地ノ總面積三分ノ二及地價ノ三分ノ二以上ニ當ル、即チ以上三箇ガ三分ノ二以上ニ當ル土地所有者ノ同意ヲ得テ設計書及規約ヲ作ツテ地方廳ノ認可ヲ受クルト云フコトガ、是ガ抑、耕地整理組合手續ニ付テノ原則デアル、耕地整理ヲナスニ付テノ原則デアル、此事ニ付テ修正ヲ致シタノデ、即チ土地及地價ニ付テハ其土地ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルコトハ無論宜シ、併ナガフ人員ト云フコトニ付テハ必シモ土地ノ平均ニ持ツテ居ルモノハナシ、大ナル地主モアリ、又極ク少ナル地主モアルカラ、要スルニ一箇村ノ土地ハ凡ソ住居ニ致セバ二分ノ一、即チ半數ノ人ノ同意ヲ得レバ其地區内ノ地價及面積ハ確ニ三分ノ二以上ニ達セラルモノデアル、故ニ土地ノ面積地價ガ三分ノ二トナッテ居ル以上ハ一方ニ多クノ地所ヲ持ツテ居ル人モアルガ故ニ、此所有者ノ方ハ二分ノ一ト云フコトノ範圍ニ之ヲ狹メ十分デアル、斯ク致セバ大ニ此事業ノ進捗ニ於テ便利ヲナスコトガ出來ル、一體耕地整理ノ最モ困難トスル處ハ同意ヲ得ルコト云フコトノ手續デアツテ、即チ其困難ノ一條件タル同意ト云フコトガ其地區内三分ノ二ノ同意ヲ得ルコト云フコトガ至極困難ナル次第タルカラ、即チ二分ノ一ト云フ範圍ニ之ヲ狹メルト云フコトハ將來耕地整理ヲ施行スルニ大ニ此發達ヲ圖ルト云フコトノ點ニ於テハ利益デアアル、又便利ナル所デアリマシタ、此二分ノ一ト云フコトノ修正案ガ通過致シタノデアリマス、是ニ付テハ附加ヘテ置キマスルガ、政府ハ是ニ付テ悅シテ同意ヲ表シテ居リマセス、居リマセスガ併シ現今ノ狀態ニ付テ考ヘレバ斯ノ如キ數ニ致シテ置イテ此耕地整理ヲ進行セシムルノガ最モ機宜ニ適シタモノデアルト云フコトガ委員諸君ノ大多數ノ意向デアリマシタ、即チ此二分ノ一ト云フコトニ決定ヲ致シタノデアリマス、ソレカラ次ノ舊即チ改正案デアリマシタ五十二條三條四條五條此處デ削除シマシタ、其削除シマシタハ此五十二條ナルモノハ耕地整理ノ其地區内ノ土地所有者ガ十分ノ一及其他價ノ十分ノ一ニ當ル土地所有者ガ具申ヲ致セバ、地方長官ハ耕地整理組合ノ設立ヲ必要ト認メレバ、時ニ於テハ假リニ現今ノ地區ヲ指定シテ創立委員ヲ命ジテ此仕事ヲ爲シ、サウシテ其旨ヲ公告スル、斯様三十二條規定デアリマス、又五十三條ニ於テハ創立委員ハ設計書案及規約案ヲ作リ組合員タルヘキ者ノ總會議ニ付スヘシ」斯ウ云フコトニナッテ居リマス、ソレカラ五十四條ハ又「前條ノ總會議ノ議

事ハ組合員タルヘキモノ、三分ノ二以上ニシテ且組合地區内ノ土地ノ總面積及總地價ノ各三分ノ二以上ニ當ル土地所有者ノ同意ニ依リ之ヲ決ス」斯ウ云フコトニナッテ居ル、又五十五條ハ「設計書及規約ノ議決ヲ經タルトキハ創立委員ハ地方長官ノ認可ヲ受クヘシ」斯ウアツテ、即チ一方ニ於テ土地ノ所有者三分ノ二以上土地ノ區域三分ノ二以上又地價ノ三分ノ二以上ニ當ル者ノ同意ヲ得テ一ツ耕地整理ガ出來ルト云フコト、又一方ニハ其地區内ノ人員ノ十分ノ一及地價ノ十分ノ一ニ當ル者ノ同意ヲ以テ之ガ具申ヲスレバ地方長官茲ニ一ツノ耕地整理ノ假區域ヲ拵ヘテ、サウシテ總會議ニ依ッテ耕地整理ノ進行ガ出來ル、此二ツノ方法ニナッタノデアリマスル原案ハ、ケレドモ前申スガ如クニ委員會ハ三分ノ二ト云フ人員ヲ二分ノ一ト變ヘタル以上ハ此一條ヲ以テ耕地整理ヲ進行スルニ十分デアリマス、彼ノ人員ノ十分ノ一地價ノ十分ノ一ト云フヤウナ誠ニ漠然タルモノニ依ッテ地方長官ガ之ヲ始メルト云フガ如キ一ノ方法ハ之ヲ棄テ、可ナリデアル、ナゼナレバ此方法ハ耕地整理ヲ進行サセ容易ニ著手セシムルト云フノ點カラ見レバ非常ニ便利ナル簡條ノ如ク見エマスルガ、又裏面カラ見レバ一朝地市長官ガ耕地整理ニ著手シタル面積等ヲ多ク之ヲ知ラシメンガタメニ即チ功名心ニ驅ラレト云フガ如キ長官アリトセバ、此條ヲ利用致シテ誠心耕地整理ヲソレ程好マナイコロノ地區ニ向ッテ耕地整理施行地ヲ假リニ命ズルコトガ容易ニ出來得ラルカラ、之ハ善ク利用サレ、ハ誠ニ結構デアルガ、一度之ヲ惡シク利用スルニ於テハ其害大ナルモノデアルガ故ニ、之ハ廢スルコトガ至當デアル、尤モ前條ニ於テ三分ノ二ト云フ人員ヲ二分ノ一ト遞減ヲ致シテ此普及ヲ圖ルト云フコトニ致シタ以上ハ、附帶ノ耕地整理ノ方法ヲ設ケル必要ガナシト云フコトデ、即チ第二法案タル此十分ノ一ニ依ッテ人員及地價ノ標準トシテ假リニ地區ヲ定メルコトノ方法ハ否決サレタノデアリマス、之ニ附隨シテ三條四條ト云フモノハ同時ニ削除サレタモノトナッテ居ルノデアリマス、ソレカラ之ニ依ッテ詰リ二十九條ト唯今ノ四箇條ト五箇條削除ニナリマシタカラ此以下ノ條章ハ自然ノ結果五條ヅ、繰上グルコトニナルノデアリマス、ソレカラ修正ノ第五十二條ニチヨツト修正ガアリマシタ、即チ組合創立ニ關スルコト云フ「創立ナル字ヲ「設定」ト直シタノデアリマス、之ハ極ク小ナル改正デアリマスガ、併シ之モ第五十條ニ依ッテ組合ヲ設立スルコト云フコトニナッテ居ルデ、今度創立委員ト云フガ如キモノハ削ラレシマッタノデアリマス、當然前條ヲ受ケテ來ツテ之モ組合「創立」ヲ「設定」ト云フコトニスルガ至當ナリト云フ意味ニ於テ修正ヲ致シタモノデアリマス、ソレカラ修正第五十五條ニ於ケル條項ノ中ノ修正モ是亦前條ニ於ケル五十三條五十四條等ガ削除ノ結果ヨリ來ル修正ト御承諾ヲ願ヒマス、ソレカラ六十八條ニ於ケル修正モ是亦前申上ケマシタ五十四條ノ修正ノ結果ト御承認ヲ願ヒマス、ソレカラ修正八十一條又一ツノ修正ガゴザイマスガ、即チ「但シ耕地整理施行ノタメ他人ニ加ヘタル損害ノ賠償ヲ除ク外」ト云フ文字ガ削ラレタノデ、之ハ前申上ケタ二十九條ヲ削除シタ當然ノ結果デアリマス、ソレカラ修正ノ八十六條ノ末項ノ「三十日以内」ト云フ字ガ「六十日」ト修正シタリマシタ、二項ニ「前項ノ訴願アリタル場合ニ於テハ云々」ト一番御シマイノ「停止スヘシ」トアルヲ「停止スルコトヲ得」ト修正ヲ致シマシタ、此二十日ヲ六十日ト致シタ所以ノモノハ即チ人權ヲ重シズル點カラ見テ、告示ノ日ヨリ三十日ト云フコトニ於テハ短キニ失スル故ニ之ヲ六十日トスルコトガ至當ナリト云フ意ニ於テ六十日ト致シタノデアリマス、又第二項ノ「前項ノ訴願アリタル場合ニ於テハ地方長官ハ其議決アルマデ目的タル土地ニ付耕地整理ノ執行ヲ停止スヘシ」ト斯ク致シタ時分ニハ此停止ヲ必ナシ得ラレル、然ルニ此耕地整理ノ訴

願ナドニ付テハ地區内ニ居ル者又ハ關係者トカ或ハ占有者トカ云フヤウナモノガ徒ラニ此訴願ヲ提起シテ耕地整理ノ進行ヲ妨ケルコト云フ場合ガナイトモ限ラナイ、其時ニ於テ停止スベシト致シテ居レバ徒ラニヤラレタ事柄ニ付テ此事業ヲシテ斷然停止シナケレバナラヌト云フ危險ガアルガ故ニ、茲ニ「停止スルコトヲ得」ト致スコトニ修正ヲ致シテ「デアリマス、ソレカラ第九十三條ト云フモノヲ新ニ加ヘタ」デアリマス、之ハ北海道ノ耕地整理ニ付テハ勅令ヲ以テ特例ヲ設ケルコトヲ得ト云フコトノ新條項ヲ加ヘタ「デアリマス」テ、之ハ政府カラモ此要求ガアリマシテ、段々調査シテ見ルト北海道ニ於ケル未開地處分ノ土地ニ付テ耕地整理ヲナスガ如キニ於テハ此改正案ヲ以テ適用シ兼テ場合ヲ保シナイ、故ニ此特例ヲ設ケルコトノ條規ヲ一ツ存シテ置イタト云フコトデ、即チ此條項ヲ挿入スルコト、ナッタ「デアリマス」、先ヅ以上ガ大體修正ヲ致シマシタコトコロノ點「デアリマス」シテ、其他ノ小修正ハ自然ノ結果ノ修正ハ御承知下サレバ大差ナキト信ジマスルガ故ニ、修正ハ先以テ右様ノコト、御承知願ヒタイノ「デアリマス」是ヨリ前申述ベマシタ此改正案ニハ非常ニ事項等モ加ヘ、目的等モ増加致シマシテ耕地整理業ノタメニハ最も喜ブべき改正デアル、又大ナル利益ヲ與ヘルコト「デアリマス」、何故ナラバ委員會ニ於キマシテノ質問應答ハ速記録ニ於テ諸君ハ御承知下サルコトガ出來マスルガ、此改正案ノ要旨ニ付テハ速記録ニハ之ガナイノデアル、故ニ之ヲ此本會議ノ筆記ニ「速記録ニ加ヘテサウシテ之ヲ普及致シマスレバ、今ヤ耕地整理ニ著手シ居ルコトノ組合」組合ハナイ、者ニ對シマシテ又是ヨリ將ニ耕地整理ヲ爲サントスル者ニ對シマシテモ大ニ參考トナリ又大ナル利益ヲ生ズルコト、信ジマスカラ、ドウカ暫クノ間尙時間ヲ與ヘラレタウ存ジマス、一體此現行法ニ於キマシテハ耕地整理ノ中ニハ開墾トカ地目變換トカ云フコトハナカッタノ「デアリマス」、ソレヲ今度ノ耕地整理ノ目的事項中ニ改正案ニハ開墾地目變換等モヤハリ耕地整理ノ結果トシテ耕作物ノ維持管理ノ方法ノ如キコトハナカッタノ「デアリマス」ガ、之モ斯ノ如ク致シテ置キマスレバ折角ニ耕地整理ニ伴フコトノ效果ヲ空シクスルコト云フノ嫌ガアリマスルガタメニ、今回ノ改正案ニハ是等耕作物ノ維持管理法ト云フモノヲ明カニ規定ヲ致シタ「デアリマス」、之ハ此一條ヲ以テ見マシテモ此耕地整理ノ上ニ於テハ改正案ハ一大新面目ヲ與ヘタモノデアラウト信ゼラル、ノ「デアリマス」、ソレカラ又此發起認可ト云フコトガ現行法ニハ「デアリマス」ガ、今度ノ改正法ニ於テハ斯ノ如キ無駄ノ手續ハ省イテシマッタノ「デアリマス」、即チ施行認可又ハ組合設立認可ト致シマシテ且其認可權ヲ以前ハ殘ラズ農商務大臣デアッタモノヲ今回ハ地方官ノ職權ニ移シマシタ、又其他ノ監督權モ差支ナイ限リハ地方官ニ之ヲ歸セシムル、サウシテ事務ヲ餘程簡捷ニ致シマシタ「デアリマス」、即チ前ニ申上ゲル通り耕地整理ノ困難物ハ取扱フ得ルコト、サウシテ手續ト云フコトノ一ツデアッタ、其手續ヲバ認可ノ如キモ地方官デ爲シ又其他ノ手續ニ於テモ出來得ル限リ地方官ニ之ヲ委ネタト云フコトハ實ニ之ハ大ナル簡捷デアリマシテ、耕地整理ノタメニハ實ニ寶スベキコト、信ズルデアリマス、ソレカラ又變更ト云フコトニ付キマシテモ現行法ニ於テハ整理事項ニ地區ノ變更ニ關スル規定ガ不備デアッタノ「デアリマス」、所ガ改正案デハ此場合ニ關スル規定ヲ設ケマシテ明カニ此變更ノコトガ容易ニ洵ニ進ミ好ク出來ルヤウナ順序ニ規定ヲ設ケタ「デアリマス」、是又大ニ改正案ノ長所デアラウト信ズル「デアリマス」、ソレカラ手續處分等ノ繼承ノコトデ、即チ整理ニ關スル權利義務ハ土地ノ所有權ト共ニ移轉スルコト云フコトハ

曩キニ第五條ノ時ニ申上ゲテアリマシタガ、改正法ニ於キマシテハ尙此權利義務ハ所有權ノ移轉ト云フノミナラズ、此處分ヲ致シマシタコトヤ手續等ニ至リマシテモ總テ此繼承人ト云フモノガ——其繼承人ニ對シマシテ權利義務ト云フモノガ其儘移轉スルコト云フコトニ規定致シタ「デアリマス」、是又洵ニ改正法ノ宜シキヲ得テ居ルモノデアラウト思フノ「デアリマス」、即チ繼承人ノミナラズ尙占有者又ハ關係人ノ繼承人ニ付テモ同ジキコトニ致シタ「デアリマス」、ソレカラ、現行法ニ於キマシテハ此發起人ノタメニ發起人が發起シテ耕地整理施行ノタメニ發起ヲ爲ス場合ニ必要ノトキハ他人ノ土地ニ立入ルト云フコトモ出來ルノ規定ハアリマシタケレドモ、整理委員ニハ此權限ヲ與ヘテナイガタメニ實際上頗ル不便デアッタノ「デアリマス」、所ガ改正案ニ於キマシテハ此耕地整理ノ施行者ニモ亦施行準備ノタメニ必要ナル場合ニハ他人ノ土地ニ立入ッテ測量検査又ハ竹木土石等ノ移轉若クハ除去ヲ爲スコトヲ得ルコトニ致シタ「デアリマス」、而シテ尙且此關係人バカリデナク尙地方ノ長官又ハ郡長等モ耕地整理ニ關スル調査ヲ爲ス場合必要ナル場合ニ於テハ官吏又ハ吏員ヲシテ同様ノ行爲ヲ爲サシムルコトヲ規定致シタ「デアリマス」、尤モ之ニ付テ損害ヲ生ジタ場合ニ致テハ必ズ之ハ賠償セシムルコトヲ規定ヲ設ケテ、サウシテ他人ノ損害ヲ償フコトニ致シタ「デアリマス」、ソレカラ今度ハ登錄稅ノ免除デアリマス、デ整理施行ニ依ッテ道路溝渠等ノ變更廢止又ハ土地ノ區劃形狀ノ段々正サレテ參ルニ從ヒマシテ、字ノ區域又ハ其名稱ノ變更ヲ便宜トスル場合ハ多クアリマスルノ「デアリマス」、仍テ之ニ關スル此登記登錄稅ト云フモノニ付テ登錄稅ヲ免除スルコト云フコトニ新タニ規定ヲ今般設ケタ「デアリマス」、之モ新法ニ依ッテ今度新タニ出來マシタモノデアリマス、ソレカラ耕地整理後ノ地價及地租ニ付テハ現行法デハ明治三十年ノ法律第三十九號ノ規定ヲ準用スルコト、ナッタ居リマシタガ、改正案デハ耕地整理法中ニ之ニ關スルコトコロノ規定ヲ備ヘマシテ、從ツテ此三十年ノ法律第三十九號ト云フモノハ廢止スルコトナリマシタ、デサウシテ此新タニ開墾事項ノ變換等ヲ耕地整理ノ目的中ニ加ヘタ結果ト致シテ之ヲ行ヒマシタコトコロノ土地ノ地價ノ修正及地租ノ據置年期等三點ニ關シテハ地租條例ノ規定ヲ斟酌シテ特例ヲ設ケテ、サウシテ荒地免租年期地ニ付テハ地價修正ヲ認メ、又整理ノタメニ交付スル國有地ガ國有地ニ編入スル、民有地ヨリモ少ナキ場合ニ於キマシテハ其差分ニ對スル地價ヨリ地價免租年期地價ヲ配當スルコト、致ス等ノ點ニ於テ現行法ノ規定ヲ改正ヲ致シテ居ルノ「デアリマス」、ソレカラ又耕地整理地區内ト雖モ諸般ノ事情ニ依ッテ部分的ニ特別ノ取扱ヲ爲スヲ必要トスル場合ハ多クアルニモ拘ラズ、現行法デハ之ニ對スル規定ガナイガタメニ不便デアッタノ「デアリマス」、改正法デハ此地區ヲ幾ツニモ數區ニ分チマシテサウシテ各區分ニ一地區ナルガ如ク處分ヲ致シマシテ格別ニ各別々ニ換地ノ交付、地價ノ配當土地覺帳ノ整理等ヲナシ得ルコトニ致シマシタカラ是モ進行上至便ノコト、信ジマス、ソレカラ損害ノ補償デアリマスルガ、耕地整理ヲ施行致シマスレバ自然ニ賃借權者、地上權者、永小作權者、又ハ地益權者ガ其目的ヲ達スルコトガ出來ナイヤウニナルガ、賃借ヲ解除シタリ又ハ地上權、永小作權若クハ地益權ヲ拋棄スル場合ガ生ズルコトハ明カデアラウト思フ、然ルニ現行法ハ解除又ハ拋棄ト共ニ損害ノ補償ヲ請求スルヲ認ナカッタノ「デアリマス」ガ、改正案デハ私權ヲ重シテ斯ウ云フ場合ニ於テハ此耕地整理施行者ニ對シマシテ補償ヲ請求スルコトヲ許シタ「デアリマス」、ソレカラ此耕地整理ノ施行ノタメ賃借權者、地上權者、永小作權者、地益權者ニ於テ著シク利益ガ増加シタ場合ニ現行法ハ賃借人又所有者ニ代價ノ増加ヲ請求スルコトヲ認メタ「デアリマス」ケレドモ、改正案デハ利益ガ公平ナラシムルタメ此請求ヲナシ得ルコト、致シマシテ、相手方解除又ハ拋棄ヲナシテ對價増加ノ義

務ヲ免ル、權利ヲ與ヘタノデアリマス、ソレカラモウ一ツハ是非非常ニ便利ト思ヒマスガ、此耕地整理ノ水利組合ニ引繼ギ又ハ變更スルコトデアリマス、即チ共同ノ耕地整理ノ施行又ハ耕地整理組合ニアリマス耕地整理ノ事業ヲ府縣都市町村又ハ水利組合ニ於テ施行スルヲ得ルニ至リタルトキハ、其事業ヲ引繼ギ又ハ普通水利組合ニ變更シムル規定ヲ設ケタノデアリマス、即チ町村ノ引繼ギタル又ハ普通水利組合ニ變更ヲ致シテ此整理ノ始末ヲ付ケルコトが出来ルデアリマス、是モ誠ニ便法デアリマスト信ジマス、ソレカラ監督デアリマス、監督ハ前申上ケタ通り現行法ニ於テハ農商務大臣ガ單獨ニ此監督ニ當テ居リマシタガ、今回ニ於テハ第一次ヲ郡長第二次ヲ地方官第三次ヲ主務大臣ト云フコトニナリテ居リマシテ、サウシテ地區ノ區域ガ郡トカ市若クハ數郡ニ互ル、若クハ市内ニ止ル場合ニ於テハ第一次郡長、第二次府縣長官ト云フコトニ致シマシテ其範圍ヲ擴張メテ參タノデアリマス、ソレテ施行法モ舊來ハ一人施行、共同施行ト二種類デアリマシタ、所ガ今回組合ヲ設ケテ二種類ト致シタノデアリマス、殊ニ組合ナルモノニ種類ヲ殖シタノデアリマセヌデ、法人ト云フ組合ニ致シタノデアリマス、法人ハ人格ヲ有スル、サウシテ總テノ權利義務等ノ如キ取扱が出来マスガ故ニ、唯今人格ヲ有セザル一人若クハ共同團體カラ見マスレバ頗ル萬般ニ付テ便宜ヲ得ルコトニナリテ進行上ニ餘程疏通ヲ得ルコトニナラウト存ズルデアリマス、ソレカラ現行法ハ共同施行ニ付テ土地ノ強制編入ヲ認メテアリマシタレドモ、此改正法ハ既ニ組合ト云フモノヲ認メシタ以上ハ強制編入ハ法人タル組合ニ於テノミ之ヲ爲スコト、致シタノデアリマス、斯ウ致シタハ諸般ノ關係上法人デナケレバ此強制編成ヲナスノハ頗ル不便デアリマスガ故ニ、法人ニ限り強制編入ヲナスコトニシタノデアリマス、ソレカラ組合設定ニ付テノ方法ト云フコトハ五十條ノ修正ト五十二條以上削除ノ理由ヲ述ベタル節ハ申上ケマシタカラ最早二度申上ケル必要ハナカラウト存ジマス、ソレカラ當改正案ニ於キマシテハ組合會議ト云フコトハ總會及評議員會ニ致シ、即チ評議員會ナルモノハ總會ニ代テ其權限ヲ代理スルコトが出来ルデアリマス、又命令セラレタル特別ノ場合ニ於テハ組合會議ヲ設ケテ總會ニ代用スルコトが出来ルコトニ致シタノデアリマス、是モ僅カノコトニ總會ヲ開クト云フコトハ餘程困難デアルカラ代表的ニ評議員會及組合會此總會ニ代ハルコトが出来ルデアリマス、是又實ニ便法ト存ズルデアリマス、ソレカラ組合ノ機關ハ以前ニ於テハ整理委員ガ委員長ヲ置ク位ニ止ツタノデアリマス、然ルニ今回ハ組合ニ組長、組合副組長ト云フモノヲ設ケテ之ヲ執行ノ機關ト致シタノデアリマス、又同組合ハ法人トナシ、又ハ監督ノ機關ト致シタノデアリマシテ、サウシテ時ニ據リマシテ評議員ヲシテ組合長ノ事務ノ一部ヲ分掌スルコトが出来ルヤウニ簡便法ヲ付ケタノデアリマス、ソレカラモウ一ツデオシマイデアリマスガ、詰リ改正案ト現行法トノ經過ニ付テ特ニ茲ニ申上ケテ置ク必用ガアラウト思フ、現行法ニ依リマスレバ概シテ現行法ヲ適用スルコトニ致シマシテ改正案ガ現行法ニ較ベテ利益ニシテ別ニ差支ラ生ゼザル場合ニ限リテ改正案ヲ適用スルコトニ致シタノデアリマス、尙現行法ニ據ルモノト雖モ施行者ノ申請ニ依リマスレバ改正案ノ耕地整理組合トナスコトヲ許スト云フコトニシテ居ルデアリマス、故ニ之ヲ一々ニ云ハバ現行法ニ依リテ便利ガアルモノハ現行法ニ據リ、改正案ニ依リテ便利ナルモノハ改正案ニ依リテ進行ヲナシ得ラレト云フコトニ致シタノデアリマスカラ、餘程此業ニ從事スル人ノ利益ヲ圖リマシタノデアルト信ズルデアリマス、以上改正案及修正ニ對スル要旨デゴザイマスカラ何卒ドウカ御賛成ノ上即決ヲ願ヒタウゴザイマス

(加藤正英君登壇)

○加藤正英君 諸君、私ハ本案ニ賛成ヲ表スルノデ其要點ヲ極メテ簡單ニ述ベヤウト

思ヒマス、倍耕地整理ハ根本的農事ノ改良デアリマシテ、産業ノ進歩國力ノ發展ニ資スルハ明白ナルアル、是ガ既往ノ實績ヲ聞キマスルノ三十三年始メテ整理施行以來是マデ十二万五千町歩ニ至リマシテ、其八分即チ十萬町歩ハ既ニ工事完了致シマシタガ其結果増收額平均約三十二万石デアル、是ガ一石十二圓半ト假定シマスレバ四百萬圓トナルデアアル、實ニ多大ノ利益ヲ現ハシテ居ルデアアル、而シテ整理後ニ於キマシテハ區劃整然タルガ故ニ、灌溉排水ニ正條植ニ、害蟲ノ驅除ニ、總テ耕作上ノ利便ヲ増シマスル、從テ勞力ヲ省キ又濕田變テ乾田トナリマス、或ハ土地境界ノ爭論ヲ斷チ、或ハ賣買ノ價格ヲ騰貴セシムル等ノ利益ハ尠少デアリマセヌデアアル、尙將來整理施行スベキ面積ハ約四百四十萬町歩デアデ、是ガ既往ノ實例ニ比シマスレバ、一萬町歩ニ對シ四十萬圓ノ利益デアリマスカラシテ、即チ五千六百萬圓デアデ、彼是通算致シマスルト實ニ六千萬圓ノ巨額ニ上ルデアリマス、實ニ六千萬圓ノ巨額ニ上リマスデアアル、是ハ決シテ杜撰デナイデアアル(分タノク)ト呼フ者アリ(各府縣ノ取調ヲ統計シマシタノデアデ)信ヲ措クニ足ラスデアリマス、斯ノ如ク大ナル利益ハ朝野ノ認ムルコトデアリマシテ、今期議會ニ於キマシテモ他ノ費用ハ繰延ベアルニモ拘ラス、既業ニ五十一萬五千圓ノ耕地整理等ノ獎勵補助費ヲ決サレタノデアルト信ジマス、サレバ將來整理施行者ニアデハ事業ノ困難ナル、即チ地盤ノ礮礮ノ如キ、犬牙錯雜ノ如キ、乾濕不定ノ如キ、總テ萬難ヲ排シテ奮闘國利民福ヲ圖ルノ勇氣活動ヲ振作スルヲ肝要ト存ジマス、(朗讀スルガ宜イ)ト呼フ者アリ(終リニ臨シテ現行法ト此改正法ヲ比較對照スルニ整理ノ手續ト費用トヲ省キ、且又特典ノ範圍ヲ擴張シ、又權利義務ヲ明ニ規定サレマシタデ、最モ有利ナル案デアリマスガ故ニ、産業ノ進歩國力ノ發展ハ信シテ疑ハザルトコロデアレバ(分タノク)ト呼フ者アリ(是ニ因テ之ヲ遂行シマスレバ戊申御詔勅中ノ上下心ヲ一ニシ、忠實業ニ服シ、勸儉產ヲ治メ云々)御趣意ニ副ヒ奉ルコト、存ジマス、尙序ニ御參考トシテ一言附加ハマスガ、(餘所見シテハイカニカ)ト呼フ者アリ(整理事業ニ於キマシテハ内外舉テ稱讚シマスガ、併ナガラ其費用ノ負擔ノ重キト、整理後ノ結果如何トニ顧慮スルニ依リマシテ之ヲ整理費ニ運用シマスレバ他ニ利益ヲ吸收セラレ、コトハアリマセヌ、(大演說タ)ト呼フ者アリ(又整理ノ三四年間ハ土地ノ交換、地盤ノ高低ヲ平均シ、或ハ道路堤堰畦畔等ノ改廢ヲ行ヒマスレバ、瘠土混合同タメニ收穫不良ナルハ當然ノコトデアリマスレバ、之ヲ補フニハ堆肥ヲ精製致シマシテ尙買肥ニ三割ヲ増シマスレバ決シテ劣ルコトナキノミナラス却テ善良ノ增收アリマスレバ此一點ニ對シマシテハ曩ニ注意ヲ拂置キマスレバ決シテ苦心スルコトハナイノデアルカラシテ、戰後經營ノ一大事業ト致シマシテ勵起奮勵斯業ノ完成ヲ切望シテ止マザルトコロデアリマス、尙參考トシテ之ヲ此處ニ於テ朗讀致シマスレバ餘リ時間ヲ要シマスカラ速記ニ讓リマス左様御承知ヲ願ヒマス、本案ニ對シテ賛成ノ意ヲ表シテ置キマス

(參考書ハ衆議院議事速記録第二十三號ノ末ニ載ス)

○恆松隆慶君 直チニ議會ヲ開カレンコトヲ望ミマス

○議長(長谷川純孝君) 直チニ議會ヲ開クト云フコトニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷川純孝君) 御異議ハナイト認メマスカラ、直チニ議會ヲ開キ、議案ノ全部ヲ議題ニ供シマス——ト部喜太郎君

耕地整理法改正法律案

第二讀會

(ト部喜太郎君登壇)

○ト部喜太郎君 私人原案ノ第七十八條修正案ノ第七十二條ニ當リマスル其第四項ニ「地方長官必要ト認ムルトキハ職權ヲ以テ組合長又ハ組合副長ヲ指定スルコトヲ得」ト云フ條文ヲ修正致シマシテ「組合長組合副長共ニ缺員トナリタルトキハ地方長官ハ臨時代理者ヲ指定スルコトヲ得」ト云フコトニ修正致シタイノデアリマス、其理由ハ組合長トカ或ハ組合副長ト云フモノハ組合員全體ヨリ選舉致シマシテ其職務ハ組合ヲ代表ヲ致シマシテ組合全體ノ事務ヲ管理スル重大ナル役ヲ帶ビテ居ルモノデアリマス、然レニ斯様ナ役目ヲ持テ居リマスルモノヲ地方長官ガ必要ト認ムル時分ニハ其職權ヲ以テ之ヲ指定スルコトガ出來ルト云フノハ餘リニ此耕地整理組合ニ對シテ行政官ノ干渉ノ權限ト云フモノハ廣過ギルト云フノデ之ヲ訂正シタイト云フノデアリマス、此本案ノ八十八條、修正案ノ八十三條ニナッテ居リマス、此本案ノ八十八條ニ依リマスル「主務大臣又ハ地方長官ニ於テ會議ノ表決又ハ整理施行者ノ行為ガ設計書規約又ハ法令ニ違反シ其他公共益ヲ害スルノ虞アリト認ムルトキハ會議ノ表決ヲ取消シ組合長若ハ組合副長ヲ解任シ評議員若ハ組合會議員ノ改選事業ノ停止若ハ組合ノ解散ヲ命ジ又ハ整理施行ノ認可ヲ取消スルコトヲ得」ト云フノデ、此整理組合ヲ監督スル上ニ於テ地方長官若ハ主務大臣ト云フモノハ本案ノ八十八條ノ規定ニ於キマシテ大變ナ權力ヲ持テ居ルノデアリマス、故ニ此八十八條ノ權力ヲ與ヘテ居リマスル外ニ、尙本案八十七條ニ於テ職權ヲ以テ組合長又ハ組合副長ヲ指定スル權限ヲ與ヘルト云フ事柄ハ甚ダ適當ナラザル案デア、先刻委員長報告ガアツタウデアリマスガ委員會ニ於テ五十二條五十三條五十四條ヲ削除致シマシテ理由ト申シマスルモノモ詰リ此耕地整理法實行スル上ニ於テハ耕地整理施行者ノ成ルベク自治ニ任セル餘程已ムヲ得ヌ場合デナケレバ地方長官若ハ主務大臣ノ干渉ヲ避ケテ、成ルベク圓滿ニ此實行ヲ見タイト云フ趣意ニ於テ五十二條五十三條五十四條等ヲ削除シタイデアリマス、ソレ故ニサウ云フ趣意ヲ貫徹スルタメニ第七十八條ノ四項ト云フモノヲ私ガ今提出シタイウニ修正シテ置キマス、地方長官ノ權力ノ絶大ト云フコトヲ防ギ、又一方ニ於テハ或ル場合ニ於テ組合長若ハ組合副長等ニ缺員ガアツテ組合ヲ代表スルモノガドウシテモナイト云フ場合ニハ此臨時代理者ヲ指定スルコトガ出來ル、斯ウ云フコトニ致シマスルナラバ此法律ヲ實地運用スル上ニ於テモ誠ニ圓滿ニ事ヲ運ブコトガ出來ルデアラウト云フ意味カラ此修正案ヲ提出致シマシテ次第デアリマス、此修正案ヲ委員會ニ於テモ提出致シマシタノデアリマスガ、修正案ト、削除説ト、原案賛成ト三ツノ説ガアリマシテ何レモ多數ニナラヌタメニ已ムヲ得ズ原案ガ其儘ニ殘ッテ居ルヤウナ奇觀ヲ呈シテ居ルノデアリマシテ、私ノ修正説ハ政友會ヨリ御出ニナッテ居リマス委員諸君モ一同ニ御同意ニナッテ居ル點デアラウト思ヒマスカラ、ドウゾ私ノ修正説通りニ滿場一致ヲ以テ御賛成アラント希望スル次第デアリマス

(拍手起ル「賛成々々」ト呼フ者アリ)

○大岡育造君 唯今ト部君ノ提出セラレタル修正ニハ吾々ハ同意ヲ表シマス

○齋藤珪次君 ト部君ノ修正案ハ至極結構デアリマス、ソレト同時ニト部君ニ御相談致シマスガ、第四項ニ其事ヲ規定シマスレバ第六項ニ於ケル「組合長又ハ組合副長ノ就任若ハ解任ハ」ト云フ處ヘハ此臨時代理者ナル文字ヲ加ヘヌト云フト、前後捕ハヌヤウニナリマスガ、詰リ其處ヘ「組合長、組合副長又ハ臨時代理者」ト云フ文

字ヲ御入レ下サルコトニドウカ願ヒタウゴザイマス
○ト部喜太郎君 唯今齋藤君ヨリ發議ノ通り、ヤハリ條文ノ關係上齋藤君ノ言ハレル通り修正スルノガ至極適當デアラウト思ヒマスカラ同様ノ修正説ヲ私ヨリ提出致シマス

(「採決々々」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 採決致シマス、即チト部喜太郎君ヨリ原案ノ第七十八條、修正案ノ第七十三條「組合長、組合副長共ニ缺員トナリタルトキハ地方長官ハ臨時代理者ヲ指定スルコトヲ得」ト云フ修正説ガ出テ居リマス、其結果トシテ今齋藤君カラ發議ニナリマシタ第六項「組合長、組合副長又ハ臨時代理者ノ就任若ハ解任ハ云々」斯ウ云フ修正ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナケレバ修正通り決シマス、其他ハ委員長ノ報告ニ御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガ無イト認メマスカラ、其通り決シマス

○恆松隆慶君 直チニ三讀會ヲ開キ、二讀會ノ通り決定セラレント希望ミマス

(「賛成々々」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 直チニ三讀會ヲ開クト云フコトニ御異議ガナケレバ、直チニ三讀會ヲ開キ議案全部ヲ議題ニ供シマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 第二讀會ノ決定通り御異議アリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(長谷場純孝君) 御異議ナイト認メマスカラ第二讀會ノ決定通り決シマス、是レデ本案ハ確定致シマシタ 日程第八、砂糖消費稅法中改正法律案、本院提出貴族院回付

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

第八 砂糖消費稅法中改正法律案(本院提出)(貴族院回付)

砂糖消費稅法中改正法律案

右貴院提出案本院ニ於テ修正議決セリ依テ議院法第五十五條ニ依リ及回付候也

明治四十二年三月十五日

貴族院議長公爵徳川家達

衆議院議長長谷場純孝殿

砂糖消費稅法中左ノ通改正ス

第三條中第一種ヲ左ノ如ク改ム

第一種 砂糖色相和蘭標本第八號未滿ノ砂糖及糖蜜

甲 樽入黑糖樽入白下糖及糖蜜

乙 其ノ他ノモノ

大岡育造君 議長

○議長(長谷場純孝君) 大岡育造君

○大岡育造君 本案ハ貴族院ニ於テ修正ノ上ニ本院ニ回付セラレタモノデアリマス

百斤ニ付金二圓 百斤ニ付金三圓

ケレドモ、直チニ同意ヲ表シ難イモノデアリマスカラ、同意ヲセズト決シテ、其上ノ手續ヲ執リタイト思ヒマス

〔贊成（下呼フ者アリ）〕

○議長（長谷場純孝君） 本案ハ貴族院ノ修正ニ對シテ同意スルヤ否ヤト云フコトヲ議題ト致シマス、大岡君ノ發議即チ貴族院ノ修正ニ對シテ同意セズト云フコトニ御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ（ノ聲起ル）〕

○議長（長谷場純孝君） 御異議ナシト認メマスカラ、同意ヲセナシト云フコトニ決シマス、是ニ於テ既ニ同意セザルコトニ決シタル以上ハ、議院法ノ第五十五條ニ依リマシテ兩院協議會ヲ開クコトヲ求メナケレバナリマセヌ、而シテ協議委員ハ十名トシ、其選舉ハ議長ニ於テ是ヲ指名スルコトニ致シタイト思ヒマスガ、御異議アリマセヌカ

〔異議ナシ（ノ聲起ル）〕

○議長（長谷場純孝君） 御異議ガナシト認メマスカラ、其通り決シマス、日程第九、屠場法中改正法律案ノ第一讀會ヲ開キ、議案ノ朗讀ハ省キマス——請願委員長立川雲平君代理福井三郎君

第九 屠場法中改正法律案（請願委員長立川雲平君 第一讀會）

屠場法中改正法律案

屠場法中左ノ通改正ス

第十七條中「三箇年」ヲ「五箇年」ニ改ム

○福井三郎君 委員長ニ代テ報告致シマス、唯今議題ニナッテ居リマスルノハ、日本畜市場株式會社ト云フ法人ノ重役ガ署名ヲ致シマシテ出願ヲ致シマシタル屠場法ノ改正ノ件デアリマス、本件ハ請願委員會ニ於テ幾度カ丁寧ニ審査ヲ致シマシテ其結果採擇スルコトニ決定致シマシテ、之ヲ採擇シテ結果トシテ御手許ニ回シテゴザイマス通リ屠場法ノ第十七條中「三箇年」ヲ「五箇年」ニ改ムルコトヲ改正案ヲ提出スルコトニナリマシテノデゴザイマス、詰リ要領ハ是デケデゴザイマス、取敢テ御報告致シマス

○高木益太郎君 議長——委員長ニ質問ガアリマス

○議長（長谷場純孝君） 高木益太郎君

○高木益太郎君 本案ニ付テ請願委員會デ鄭重ニ審査セラレタト云フ御報告ニ付テハ感謝スル所デアリマスガ、今日登院ヲシテ此請願委員會ノ筆記ガ吾ノ手ニ渡サレタノヲ見マスルト、日本畜市場株式會社ノ社長岩谷松平君外ニ一名カラ明治二十九年ニ出來タ法律ノ施行期限ガ、愈々來ル六月ニ迫ッテ居ルノデアレドモ、ソレマデニ屠場ヲ改良スルノハ困難デアラカシテ、ドウゾ永久ニ明治二十九年ノ法律ガ施行ノ際ニアツタ岩谷松平君ノ關係アル會社ノ方ハ、此法律ニ依ッテ許可ヲ受ケタモノト看做スト云フコトニシテ貴ヒタイト、斯ウ云フ願書デアリマス、然ルニ本員ノ文書箱ニハ之ニ反對シテ、此請願ト云フモノヲ採擇スベカラズト云フコトヲ請願書ガ、東京府荏原郡大崎町字居木橋五百五番地木村久米丸ト云フ人カラ出テ居リマス、委員長ノ御手許ニハ此請願ガ出テ居ルデアラウト思ヒマス、今日ノ請願委員會ノ筆記ヲ見マスルト云フト、岩谷君ノ請願ニ付テハ大分御審査ニナツタ形跡ガ見エマスケレドモ、此反對ノ請願即チ岩谷君ノ請願ヲ採擇スベカラズト云フ請願ノ趣意ニ付テハ、特別委員會カ何カアツタカ知リ

マセヌガ、筆記ニハ一向現ハレテ居ラス、是ハ原告ノ云フコトヲ聞ク以上ハ又被告ノ云フコトモ一應訊サナケレバナラヌデアル、殊ニ反對ノ請願ヲ見ルト云フト、恐レ多クモ竹田宮殿下外皇族二殿下ノ御用邸ニ接近スル處ニ岩谷ノ屠殺場ガアル、ソコハ排水ノ便利ガナイカラ不潔極ッテ居ルト云フウナ現ニ書面ガ出テ居リマス、是等ニ付テ請願委員會ハ如何ニ審査ヲ遂ゲラレタカ、詳細ナルコロノ御報告ヲ望ムノデアリマス（拍手起ル）

○福井三郎君 唯今高木君ノ御尋ニ對シテ御答ヲ致シマス、今議題ニナツタ法案ヲ以テ御報告ヲ申シテアル件ハ、請願第九百九十四號ヲ以テ、本年ノ二月十二日ニ受理シテゴザイマス、コレガ三月三日ニ分科會ヲ初メテ開キマシタノデス、所ガ其分科會ノ日ハ第三分科ノ開會デアリマシテ、其日ノ日程ニ是ガ載ッテ居ッタハ誤リデアツタ、是ハ當然ニ分科ニ移スベキモノデアルト云フノデ、其日ハ日程カラ取除カレテ審査ニ移ルコトヲ得ナカッタデアリマス、越エテ二月七日ニ二分科ニ於テ之ヲ審査致シマシタ、其際ニ一分科會ニ於テ種々ナル議論ノ末、重要ナル事件デアアルカラ特別委員會ヲ選ンデ更ニ調査ヲナスベシト云フコトデ、特別委員會五名ヲ選ビマシタノデアリマス、其五名ノ特別委員會ガ同月十日ニ又開會致シマシタガ終ニ定足數ニ足ラズシテ散會スルノ已ムナキニ至ッタノデアリマス、翌十一日ニ更ニ公報ニ據ケタル通りニ特別委員會ヲ開キマシテ、其日ニ全會一致ヲ以テ是ハ願意ヲ採擇スル、採擇シタル結果トシテ、事ガ法律ノ改正ヲスルノデアラカシテ、コレデ改正案ヲ附シテ報告スルト云フコトニ決定シマシタ、其時ニ作ラレタル改正案ハ此發布セラレタル法律ニ依ッテ、既設ノ屠場ハ全ク權利ヲ得セシムル、而シテ前ノ此法律ノ明文ニハ市ニ於テ若シ之ヲ施設スル場合ニハ差支ガアレバ何時デモツル差止メルコトモ出來ルコトニナッテ居ルノデアラカラ、人ノ既得ノ權利ヲ二箇年ニ取ル必要モナイ、又取ラズトモ前ノ法律ヲ運用スル上ニ一向妨ガナシト云フ意味ニ於テ決定致シマシタ、其決議ヲ以テ同月十二日ニ第二分科ニ特別委員會カラ報告致シマシタ、其報告ノ末、第二分科會モ亦多數ヲ以テ其法案ヲ可決致シマシタノデアリマス、越エテ十二日ノ請願委員會分科ノ主査ヨリ報告ヲ致シマシタ、其際ニハ甲論乙駁ナカク、賑カナコトデアリマシタ、本員杯ガ請願委員會ニナツタカラ殆ト記憶ニ存セザル程ノ大議論デゴザイマス、終ニ請願委員會ニ於テ珍シク氏名點呼ヲ以テ決定スルノ已ムナキニ至ッタ程議論ガゴザイマシタ、其議論ノ結果終ニ既設屠場ハ總テ許可ヲ受ケタルモノト看做スト云フ法案ハ修正動議ノタメニ破レマシタ、ソレデ今日御手許ニ提出シタル法案ニ修正セラレタノデアリマス、其修正ハ請願委員會總會ニ於テハ多數ヲ以テ可決致シマシテ、茲ニ諸君ニ御報告申ス次第トナツタノデアリマス、而シテ是ト反對ノ請願ガ出テ居ルニ對シテ、更ニ取調ベタ形跡ガナイノハドウ云フ次第デアアルカト云フ高木君ノ御尋ニ付テハ最モ丁寧ニ御答ヲシテ置ク必要ガアラウト存ジマス、其請願ハ御承知ノ通りニ東京府荏原郡大崎町字居木橋五百五番地平民木村久米丸ト申ス人ヨリ出マシタ請願デゴイマシテ、斯ク申ス本員ガ紹介議員トナッテ居ルノデアリマス、此請願ガ出マシタノハ本年ノ二月三日デゴザイマシテ、號ハ四百五號ヲ以テ受理シテゴザイマス、恰モ是ハ間違ッテ第三分科ノ議題ニ先キノ改正ノ請願ガ上ボリマシタ日デゴザイマス、故ニ本員ハ其際ニ於テツレト一括シテ調ベタイト云フ意見ヲ述ベタイト云フ希望ヲ持テ居リマシタ、委員會中ニモツレト一括シテ調ベタイト云フ意見ヲ述ベタ御方モアツタノデアリマスケレドモ、根本ノ第三分科ノ日程ニ載セタノガ誤ッテ居ッタカラ、兩件共ニ審査スルコト能ハズシテ終ッタノデアリマス、ソレカラ次ノ開會日ニ至リマシタ時分ニモ、亦サウ云フ意見ガ——併セテ審査シタイト

云フ御意見がアツタヤウデアリマス、ソレハ斯ウ云フ差支カラ併セテ審査スルコトが出来ナ
カッタデアリマス、一方ハ御承知ノ通り百九十四號ヲ以テ受理セラレテ居リマスカラシテ、
早ク文書表ニ載テ各員ノ御手許ニ配付シテゴザイマス、申サバ衆議院全體周知ノ問題
デアリマス、ソレカラ一方ハ四百五號ト云フノデ、約二百號以上後レテ居ッタメ、改正請
願ヲ請願スルコトキニ文書表が出来テ居ラナカッタデアアル、ソコデ取調上不便ノ故ヲ以テ一
方ノ請願ノミヲ審査シタデアリマス、高木君ノ述べラレタ反對請願ハ本日開イタ二分
科會ニ附セラレ、未ダ總會ヲ經由シマセヌカラ何トナルカ分ラヌガ、既ニ改正ノ請願が採
用サレテ法律案マデ報告スルコトニナツタ以上ハ、勢ヒ院議ニ附スルヲ要セズト決定スル
外ハナイト云フ議論ガ多數、本日二分科會デ反對請願ハ不採擇ト云フコトニ決定シ
タデアリマス、但シ之ハ分科會故總會ノ場合ニハ何ト決定スルカ未決ナデアリマス、
大抵是デケ申セバ分リマシタラウト存ジマス、尙不足ガアレバ申述ベマス、

○高木益太郎君 サウスルト百九十四號請願審査ノ際ニハ、四百五號ノ請願ハ參照
トシテ現ハレヌデアリマスガ、現ハレタデアリマスガ、現ハレヌトスルト丁度顯席裁判ヲシ
タト同シ譯ニナリマスガ、ソコラハドウ云フコトニテ居ルデアリマスガ

○福井三郎君 御答致シマス、唯今述ベマシタ如クマデ請願ノ文書表ニ載テ居リマ
セヌデ、其理由ニ依ッテ審査ニ附スルコトが出来ナカッタデアリマスガ、之ヲ參照スル便
ヲ得ナカッタデアリマス、故ニ明カニ申セバ參照ニ至ラナカッタデアリマス、但シ斯様ノ
請願ノ出テ居ルコトガ正式ニ承知シ居ルハ云ハレヌガ、苟モ請願委員タルモノハ皆之
ヲ自ラ知テ居ッタデアリマス、之ヲ議シタ委員ノ頭ニハ皆アツタラウト存ジマス

○議長(長谷場純孝君) 高木益太郎君

○高木益太郎君 吾々ガ議場ニ於テ最モ慎重ナケレバナラヌハ、近頃有力ノ新聞紙ガ
帝國議會ニ於ケル議案ノ濫發ニ付テ非常ニ警告ヲ與ヘテ居ルコトデアアル、吾々後進者ノ
如キハ此說ヲ他山ノ石トシテ最モ顧ミナケレバナラヌコト、信ジテ居ルデアリマス、圖ラズ
今日議場ニ出マシタル屠場法ノ改正ト云フモノガ出テ居ル、抑ドウ云フ由來ガアツテ此
案ガ出タカト申シマスルト、岩谷松平外二名ノ者ガ自分ノ營業上ノ都合ガ惡イカラテ
請願シタノニ基キ當テ議會ガ協賛ヲ與ヘテ三十九年四月十一日ニ公布サレ、三十九
年七月一日カラ實施セラレタ法律ニ三十二號ト云フモノヲ改正シヤウト云フデアリマス、
元來此法律三十二號ト云フモノハ公衆衛生ノ上カラ各人ノ健康ヲ十分ニ保護スル
云フ國家ノ必要上カラ出来タモノデ、諸君ガ協賛ヲ與ヘテ成立ッタコロモノデアアル、之
ヲ何ガ故ニ安リニ改正ヲ求ムルデアルカ、立法權ヲ尊重スル上ニ於テ頗ル其當ヲ得ナイ
モノト思フデアアル、ソレモ利害ノ感ズル請願者ガ澤山アルト云フナラバ 例ヘバ地震賣
買請願ノ如キ、殆ド東京市民ノ多クガ請願シタト云フヤウナ重大ノモノデアレバ、是ハ顧ミ
ナケレバナラヌガ、本案ハ日本家畜市場株式會社社長岩谷松平外二名ノモノ、請願デ、
唯當業者ガ已レノ利益ヲ保護スル上ニ於テ、此法律ヲ施行以來三年ニテモ更ニ改良ノ
設備ガツカヌカラ延バシテ貴ヒタイト云フ請願ニ止マテ居ッテ、殆ド立法議會ト公共ノ利
益ヲ無視シタコロノ仕事デアアル、ソレ故ニ立法權ヲ尊重スル上カラ斯ル議案ノ濫發ニハ
絶對ニ反對シナケレバナラヌデアリマス、又公衆衛生ヲ維持スル上カラ斯ル如キ事柄ハ
賛成スルコトが出来ヌデアアル、日本ガ戰爭後一等國ニナツタ今日、益々衛生上ノ設備改
良ト云フコトニ努メナケレバナラヌデアアル、然ルニ請願ノ趣意ヲ見マスルト、三十九年ニ
法律ヲ施行シタ當時アツタコロノ總テノ市場ハ其儘同法ニ依リ許可ヲ得タモノト見ル、
ト云フ法律ヲ拵ヘテ貴ヒタイト云フ請願デ、請願委員會デ審議ノ上ニ之ヲ變更シテ、期

限ヲ延長シヤウト云フ表決ニナツタデアアル、所ア岩谷松平君等ノ請願趣意書ヲ見マス
ルト、三十九年ノ法律ハ既得權剝奪ノ結果ヲ生ジ、立憲ノ趣意ヲ沒却シ、殘酷極マル
法律デアアル、之ヲ改メテ貴ヒタイ、斯ウ云フデアアルガ、併ナガラ三十九年ノ法律ハ既得
權ノ侵害デハナイ、又營業ヲ禁止シタモノデモナイ、行政上ノ取締ヲ完全ニシヤウ、衛生
上ノ設備ヲ整頓シロト命ズルデアアル、少シモ營業ヲ禁止シタデアハナイ、殊ニ彼等ハ立
法議會ガ殘酷極マルト云フハ甚ダ其當ヲ得ナイ、何ガ殘酷デアアル、彼等コソ豚ヲ殺シタ
リ、牛ヲ殺シタリ、馬ヲ殺シタリシテ、實ニ殘酷極マルデアアル(拍手起ル)又三十九年ノ
法律ニ依ッテソレノ改良ノ設備ヲ施シ、或ハ検査室ヲ設クルトカ、顯微鏡ノ設備ト
カ、ソレノ文明的ノ設備ヲシテ此立法部ノ決議ヲ重シテ相當ノ準備シタコロノモ
ノガアル、ソレヲ一方ニ此法律ヲ變ヘルト云フコトニナルト、詰リ法律ヲ守ル者ガ不利益
ヲ被ッテ法律ヲ守ラヌ二三ノ横著者ガ却テ特別ノ保護ヲ受ケルコト云フ結果ニナルデア
ル、故ニ私ハ本案ハ否決シテ二讀會ヲ開クベカラズ、ト信ズルデアアル、是ニ付反對
論者ノ說ヲ見ルト 委員會ノ筆記デ見マスルト、若シ屠殺場ニ不完全ナコトガアレバ
何時デモ内務大臣ガ差止メレバ宜イデアハナイカト云フ論ガアル、是ハ實際必要ナル本
案ノ討論ニテ現ニ今議場ニ内務大臣ハ出席シテ居ラヌデアリマスガ、況ヤ是ガ實
行上豚ヲ殺シタリ、馬ヲ殺シタリ、牛ヲ殺シタリスル處マデドウシテ十分監督ガ出來ル
カ、實際ハ巡查等ガ監督スルベケデアアル、諸君ハ警視廳ノ當局者ガドウ云フ取締ヲシテ
居ルカト云フ點ニ付テ御調査ニナツタカ知ラヌガ、當業者ノ巡查ト問ニ往々不都合ガ
行ハレテ、昔ノ嚙ニ馬ヲ指シテ鹿ト云ウタト云フ殺シ、牛ト云フテ馬ヲ食ハシテ居ル實例
ルト云ウテドン、販賣シテ 牛ト云フテ馬ヲ殺シ、牛ト云フテ馬ヲ食ハシテ居ル實例
ガ頗ル多イデアアル、内務大臣ノ監督ガ宜イト云フナラバ、何モ此立法議會ガ三十
九年ノ法律ヲ決議セシ必要モナイデアアル、諸君ガ極ク冷靜ナ頭ヲ以テ自己ノ利益ヲ主
張スル二三請願者ノ言フトロガ正シイカ、公衆衛生ガ大事デアアルカ、之ヲ御研究下ス
ナラバ本員ガ之ヲ否決スルト云フ理由ガ直チニ分ルデアラウト思フ、ドウカ本案ハ二讀會
ヲ開クベカラズ、即チ否決ト云フコトニ御賛成ヲ望ミマス

○議長(長谷場純孝君) 立川雲平君

○立川雲平君 本案ハ請願委員會ガ可決ヲ致シテ提出シタ案デゴザイマスカラ、丁
度特別委員會ヲ經テ本議ニ懸ルト同一ノ效果ノモノデアリマスガ、自分ハ請願委員
長ト致シマシテハ飽マデ本案ノ賛成ヲ主張スベキ義務ヲ持ッテ居リマスカラ、茲ニ聊カ贊
成ノ理由ヲ述ベヤウト思ヒマス、高木君ノ立法部ニ於テ提案ノ濫リナルコトヲ慎シト云
フコトハ御同意デゴザイマス、確ニ御同意デゴザイマス、今後共ニ御注意ヲ致サント切
ニ望ミマス、而シテ此請願委員會ニ於テ反對ノ請願ガアル、此反對ノ請願ト共ニ審査
セナカッタハ、缺席裁判ヲスルヤウナ譯デアアルト、斯ウ云フ御論デゴザイマシタガ、是ハ正反
對ノ請願デゴザイマスカララドウモ宜シウゴザイマス、ドチラモ先ニ來タ方ヲ一ツ審査
ヲ致シマスルト、二ツシタル同ジコトニナル、所謂裁判所ニ於ケル裁判ト辯護士諸君ガ御
出ニナツテ事實ヲ主張スルコトハ違フノデ、請願者ハ其本人ヲ調ベルコトモ致シマセヌ、請
願書ノ趣旨ハ其法律ノ要旨ヲ改正シテ與レロト云ヒ、與レナト云フコトデアレバ、シテ與
レロト云フ方ヲ審査シテ可決スレバ、一方ハ自ラ否決ニナル、一方ハ否決サレナラバ、
一方ハ必ズ賛成ニナルト云フコトデアリマスガ、是ハ必シモ諸請願委員會ニ於ケル手
落デアルトハ申サレマスミタイ思フ、ソレカラ請願ト云フモノハ一ノ人ノ請願デハイケナ
イ、借地權保護ノ如ク東京市ニ於ケル何千ト云フ人ガ請願シテ來タモノナラバ宜シイ、

○立川雲平君 登壇

○立川雲平君 登壇

○立川雲平君 登壇

○立川雲平君 登壇

○立川雲平君 登壇

○立川雲平君 登壇

一ノ人ノ請願ハイケンイ、是モ一應ハ御尤デアル、數多ノ人ノ請願ハ請願委員決シテ輕クハ見マセヌ、彼ノ已ニ法律案トナツテ居ルモノハ、再ヒ採擇ニナリマシテモ當院ニ報告シナイノガ例トナツテ居リマスルニモ拘ラズ、彼ノ借地權ニ於キマシテハ何千ト云フ請願人デアッタガタメニ本員ハ茲ニ特別ニ御報告シタ位重クハ見マスルデス、併ナガラ是モ亦採擇、不採擇ノ唯一ノ理由ニハナリマス、千萬人ノ人ガ之ヲ訴フルト雖モ、其事ニシテ不道理デアッタナラバ之ヲ排斥セバナリマス、僅ニ一人ト屈強ノ男子デナイ、女子一人ト雖モ小兒一人ト雖モ、彼ガ訴フル所道理アラバ之ヲ採ルノニ何ノ差支ガゴザイマセウカ、故ニ多勢ノ人ガ請願スルト、少數ノ人ガ請願スルトハ多少其間ニ輕重ハアリト雖モ、之ヲ唯一ナル理由トシテ以テ採否ヲ決スルコトハ出來ナイト信スルノデアル、而シテ本案ハ岩谷松平ト云フ人ハ過日本院ニ於テモ或ル請願ニ於テ人ノ嘲笑ヲ買ウタコトガアリマスルタメニ、甚ダ其人ノ氏名ハ面白キ感シヲ與ヘタノデアル、併ナガラ其人ノ面白キ感シヲ與ヘタト云フガタメテ之ヲ捨アルト云フコトモ亦或ル道理ガアッタナラバ捨アルコトガ出來ナイノデアリマス、而シテ此案ハ三會社法人ガ三人訴ヘテ居ルノデアル、所謂法人ガ三人訴ヘテ居ルノデアル、高木君ハ委員長ノ代理ニ向テ質問シテ木村某ノ請願ガアルト云フテ非常ニ御主張ニナツタノハ即チ木村某一人デアリマセヌカ、高木君一人ノ請願ト雖モ荷モナラヌコトハ御尤デアル、ソレト同時ニ法人三個ガ連署シテ願ツテ來タモノハ、唯一個人ノ請願ヨリハ、ヨリ以上ニ重ミガアルト謂フテモ不都合ハナカラウト思フ、併ナガラ本員等請願委員會ニ於テハ是等ノ理由ヲ以テ採否ヲ決シタノデハ決シテアリマセヌ、是ヨリ即チ採擇ニシテ法律改正ニナル所以ヲ聊述セヤウト思ヒマス、諸君、此法律ガ改正ニナツタ場合ニ於テ、或ル營業者ガ營業ヲ變ヘバナラヌトカ、其營業ヲ廢止セバナラヌト云フ場合ニハ、立法者ハ確ニ是ガ轉業スルコト、是ガ廢止ニナルコトハ多少ノ思フ焦サネバナラヌ、心配ヲセバナラヌ、彼ノ煙草ノ專賣ニナリマスル際ニ、從來煙草營業ヲシテ居ル者ニ向テハ莫大ナル補償モ與ヘバナラヌ、年ヲ經タ後ニ於テモ尙之ガ補償ヲ與ヘルト謂フテ、貴衆兩院ガ議シタルガ如ク、法律ノ結果、從來ノ營業ヲ變ヘルト云フガ如キニ至ツタナラバ餘程深キ思フ焦シテ以テ是等考慮ヲセバナラヌト云フコトハ申スマデモナイ次第デアリマス、本案即チ唯今問題ニナツテ居リマス所ノ屠場法ハ如何ナル法ノ規定ガアルカト申シマス、其中ニ四箇條ケ必要ナル條目ガゴザイマスルカラ、之ヲ茲ニ朗讀スルコトヲ御許ヲ願ヒマス、此屠場法ノ第六條ニ「市町村ニ於テ屠場ヲ設立スルトキハ地方長官ハ必要ト認ムル地域内ニ於ケル既設屠場ノ廢止ヲ命スルコトヲ得」第七條ニ「屠場ヲ設立スル市町村ハ屠場ヲ命セラレタル私設屠場主ニ對シ屠場ノ使用廢止ヲ爲シ受ク損傷ヲ補償スヘシ」第八條「內務大臣ハ必要ト認ムルトキハ屠場ノ設立ヲ市町村ニ命スルコトヲ得」第十二條「地方長官ハ必要ト認ムルトキハ屠場設備ノ變更ヲ命スルコトヲ得」此四箇條ノ條目ニ於テ屠場法ヲ作りマシタガタメニ、從來アルトコロノ屠場法ニ對シテハ此後如何ニ取計フト云フコトガ一大問題ニナルノデアル、是ニ於テハ屠場法ノ十七條ハ三箇年間ハ許可ヲ得タモノト見ル三箇年後ニ於テハ斷然此營業權ハナイノデアル、所謂三箇年後ニ於テハ此營業ヲ法律ハ脱却スルノデアル、斯ウ云フ法律ナンデス、其三箇年ノ期限ハ本年六月デアル、然ラバ法律ハ本年六月ニ於テ全國ニ幾ツアルカト云ツタナラバ、殆ド四百、四百ノ從來ノ屠場ヲ斷然止メサセバナラヌト云フコトニナルノデアル、然ラバ汝ハ何故ニ法律改正ガ三箇年ノ餘裕ガアッタニモ拘ラズ、此三年ノ間ニ何故ニ轉業ヲシナイカ、新シイ法律ニ當嵌ルヤウナ設備ヲシテ許可ヲ得ナカッタコト云フ反對論ガアルカハ存シマセヌデ、是ニハ

大ニ理由ガアル、何トナレバ市町村ガ若シ此事業ヲアルトキニ於テハ私設ノ屠場ニ相當ノ賠償ヲ與ヘテ止メサス、又此三箇年過ギルト相當ノ出願ヲシテ許可ヲ受ケタナラバ營業ハ出來ルノデアル然ルニ三箇年過ギナイ間ニ此出願ヲスルコトガ出來ナイ、又反對ノ方ニハ例ノ私設屠場ハ三箇年過ギナラバ法律ガ抹却スルノデアル、法律ガ取拂フノデアル、取拂ウタ後ニ於テ私設屠場デモ會社屠場デモ立テラバ彼ニ補償ヲ與ヘズシテ此營業ヲ奪フコトガ出來ルノデアルト云フコトデアル、是ガタメニ三箇年ハ遂ニ本年六月ニマデ及ンダノデアル、是ニ於テ本年六月ニ此法律ガ施行サレテ斷然四百餘ノ屠場ガ無クナツタナラバ諸君ハ如何デアリマセウカ、マダ新シイ適法ナル屠場ハ出來ズ、今迄アル屠場ハ法律上權利ヲ失フトナツタナラバ、私ハ此牛肉其他ノ需用ノ上ニ大影響ヲ來シマセマイカト思フノデアル、斯ウ云フ問題ガ起リマシタノテ請願者ノ請願ノ趣旨ハ、何卒從來ノ權利ヲ其儘保存シテ、サウシテヤハリ許可ヲ受ケタモノニシテ貫ヒタイト云フ願デアツタ、ソレデ請願分科會ニ於テハソレヲ全然贊成シテ居ッ所ガ、其全然贊成シテ居ルノハ甚ダ不穩當デアル、併ナガラ前申シマシタ通りノ情實モ亦酌マネバナラヌ、東京市ニ於ケルダケハ此法律ノ履行ハ利益デアルカハ知ラヌケレドモ、各地方——帝國全國ニ於テカラニ四百有餘ノ屠場主ト云フ者ハ、此法律ノタメニ如何ニ迷惑ヲ被ルカ知レナイノデアル、又帝國中ニ於テ東京市ヲ除クノ外ノ者ガ、悉ク犧牲トナツテ東京市ノタメニ盡サナケレバナラヌト云フ義務ハ決シテナカラウト思フ、寧ろ小ハ大ニ從ハナケレバナラヌカラ、東京市ノ御方ハ忍ビテ以テ全國四百餘ノ屠場主ニ不道理ナル迷惑ヲ著セヌヤウニ骨ヲ折ラナケレバナラヌト思ヒマス、諸君斯ウ云フヤウナ事情ゴザイマスガ、唯茲ニ最モ御心配ニナルベキ筋ガアル、ソレハ高木君ノ演說中ニモアリマシタ、今迄アルトコロノ屠場ハ宮家ニ接近シテ不都合デアルトカ、衛生ニ不都合デアルトカ、此衛生ニ不都合ナリ宮家ニ接近シテ惡リト云フノハ、是ハ監督官廳ハイツ何時デモ命令ヲ下セルノデアル、其命令ヲ下スコトハ今申上ゲタ通り地方長官ハ此設備ヲ如何ニ變更サセルコトモ出來ルノデアアル、廢止サセルコトモ出來ルノデアアル、高木君ハ營業者ガ困ツテ居ル、營業者ガ其事ニ從事セヌカラト云ウテ、此法律ノ上ニ於テ非常ナル迷惑ヲ受クル者ニ向ツテ、之ヲ救済スル道ヲモ購セヌト云フコトハ餘リ殘酷ト云フ言葉ガヒドクナラバ御情ケナイ話デアゴザイマセヌカト私ハ思フ、此請願ハ請願書ヲ見ルト既得權云々ト云フヤウナコトヲ書イデアリマスカラ、餘リ針小棒大デアアルケレドモ、此法律改正ノ場合ニ於テ、從來取來タル營業者ガ此營業ヲ變ヘバナラヌト云フ場合ニ當ツテ、此案ニ遭遇シテ居ルヤウナ其營業者ガゴザイマシタナラバ、之ヲ相當ニ見計ラカニ一年若クハ二年ノ猶豫ヲ與ヘルト云フコトハ必シモ立法權ヲ蔑如シタノデモナケレバ、法律ヲ尊重スル上ニ於テ缺如スルモノデモナカラウト思フノデアリマス、故ニ東京市ニ於テ無理ナコトガアルカ知レマセヌガ、全國一般ノタメニ此案ノ通過、即チ此三箇年猶豫ト云フコトヲ彼ニ與ヘテ、此憲法政治ノ恩惠ヲ彼等ニ普及セシムルト云フコトハ相當ノコトデアラウト思ヒマスカラ、御贊成アラントラ望ミマス

〔討論終結「贊成」ト呼ブ者アリ〕

〔政府委員窪田靜太郎君登壇〕

○政府委員(窪田靜太郎君) 此際政府ノ意見ヲ簡單ニ申上ゲマス、政府ハ本案ニ反對デアゴザイマス、此法律施行ノ際ニ從來ノ營業者等ニ與ヘマスルトコロノ猶豫期限ト云フモノハ甚ダ肝腎ナモノデアル、是ニ依テ從來ノ營業所ヲ閉デモスル、又新シク計畫モ致スノデアリマスカラ、之ヲ變更スルト云フコトハ國民ガ居ル處ヲ知ラヌ譯ニナリマス、

テ、獨リ此法律ハカリテハアリマセヌ、一般ノ法律ノ威信ヲ保チマシテ參リマスノニモ甚
ダ不都合デアラウト存ジマス、(「反對デスカ」ト呼フ者アリ)反對デアリマス、(「モウ分
居ル」ト呼フ者アリ)然ラバ申シマセヌガ、本案ハ元ト衆議院ノ提出ニ依ッテ政府ハ同意
ヲ表シマシタノデアリマシテ、從來ノ者ニ對シテ相當ノコトハ致シテアル筈デアリマスカラ、
(「分リマシタ」ト呼フ者アリ)御分リニナッタラ申シマセヌガ、ドウゾ否決ニナランコトヲ希
望シマス

〔討論終結〕採決々々ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 採決致シマス、本案ノ一讀會ヲ開クベキヤ否ヤト云フコトニ
付テ採決致シマス(「分リマセヌ」ト呼フ者アリ)分ルヤウニ申シマスカラ靜ニシテ居ラシヤ
イ、本案ノ二讀會ヲ開クベシト云フニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス

起立者 少數

○議長(長谷場純孝君) 少數、本案ハ否決致シマシタ(拍手起ル)日程第十、獸疫
豫防法中改正法律案第一讀會ノ續、委員長根本正君

第十 獸疫豫防法中改正法律案(森田俊 第一讀會ノ續(委員長))

○根本正君 是ヨリ報告致シマス、獸疫豫防法中改正法律案ノ委員會ノ經過結果
ヲ御報告致シマスガ、本案ハ四回程委員會ヲ開キマシテ十分ニ政府委員ヲ審査ヲ遂ケ
タ譯デアリマス、デ此第十五條ノ「清韓及ヒ西北利亞地方ヲ發シ又ハ通過シタル畜牛
ノ輸入ヲ禁ス」ト云フ條項デアリマスガ、是ニ付テハ農商務省其他ノ政府委員ヲ呼ビマシ
テ、殊ニ此事ハ統監府ノ兒玉政府委員ノ出席ヲモテ質問致シマシタガ、兒玉政
府委員ノ述ベラレマスルトコロハ韓國ノ牛ト云フモノハ輸出品ノ中ノ第二位ノモノデ
アッテ、米ノ次ハ牛デアアル、若シ之ヲ禁ズルト云フ場合ニハ韓國ノ輸出ト云フモノハ大ニ減
ジテ困ルカラ、是ヨリハドウヤウニモ檢査ト云フコトヲスルカラ、ドウカ此項ハ削ッテ貰ヒタ
イト云フ實ニ切ナル望デアリマシタ、デ委員會ニ於テ十分ニ政府委員ニ確メテ、必ず是
ヨリハ十分ニ檢査ヲ行ッテ、日本内地ヘハ決シテ此病ノ牛ヲ入レヌト云フコトノ確答ヲ
得マシタ、故ニ既ニ是マデハ數十萬圓ノ損害ヲ此牛疫ノタメニ被ッテ居リマシタ、ケレドモ
後來左様ナル損害ガナイト云フコトヲ確メマシタガ故ニ、之ヲ削除致シマシタ、其他ハ可
決致シマシタカラ此段御報告ヲ致シマス

○恆松隆慶君 本案ハ讀會省略ヲ以テ委員長報告通リ決定サレンコトヲ望ミマス

○議長(長谷場純孝君) 恆松君ノ動議即チ本案ハ讀會ヲ省略シテ委員長報告通
リ決定ト云フコトニ御異議アリマセヌカ

獸疫豫防法中改正法律案 確定議

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナイト認メマスカラ其通リ決定致シマス、本案ハ
是ニテ確定致シマス、日程第十一、蠶病豫防法中改正法律案第一讀會ノ續、
委員長翠川鐵三君

第十一 蠶病豫防法中改正法律案(翠川 第一讀會ノ續(委員長))

○翠川鐵三君 此席ヨリ報告致シマス、本案ハ委員會ニ於キマシテ滿場一致ヲ以テ
此豫防費ヲ國庫支辨ニ移ス提案、即チ原案ニ可決決定致シマシタ、此段御報告致シマ
ス、願フハ滿場諸君一致ヲ以テ速ニ可決セラレンコトヲ切望致シマス

○恆松隆慶君 本案ニハ無論反對ノアルベキ苦ハゴザイマセヌカラ、ドウカ讀會ヲ省略
シテ確定セラレンコトヲ望ミマス、委員長報告通リ

蠶病豫防法中改正法律案 確定議

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナイト認メマスカラ其通リ決定致シマス、本案ハ是ニテ
確定致シマス、日程第十二、地方稅制限ニ關スル法律中改正法律案ハ委員長ヨリ延期
ノ申出ガアリマス、許可シテ差支アリマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 然ラバ延期スルコトニ致シマス、日程第十三、貴族院及衆
議院速記技手恩給並遺族扶助料ニ關スル法律案、第一讀會ノ續ヲ開キマス、委員
長野田卯太郎君

第十三 貴族院及衆議院速記技手恩給並遺族扶助料ニ關スル法律案(野 第一讀會ノ續(委員長))

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○野田卯太郎君 本案ハモウ既ニ提出ノ當時説明ヲヤッテ居リマスガ、修正ヲ致スマ
シタカラ、ウレダケ申シマス、「此技手任用前勤務月數」ト云フ所ニ「年」ヲ字ヲ入レマシ
タ、其下ノ「在官月數」ト云フ所ニ又「年月數」トシテ年ノ字ヲ入レマシタ、「但加算ノ年
月數ニ致シテハ官吏遺族扶助法第二條ヲ適用セム」是ダケ修正ヲシテ滿場一致ヲ以テ
本案ヲ可決シタ次第デアリマス、此案ハ政府委員ハ居リマセヌガ、政府委員ニ於テハ
已ムラ得ズ不同意ノ模様デアリマス、吾々其不同意ハ(「身體ノ如ク大キナ聲デ願ヒマ
ス」ト呼フ者アリ)理由ノナイト云フコトヲ辯駁シテ置キマシタガ、政府委員ニ於テハ此速
記者ト云フモノハ特別ノ技術ヲ要スルモノデアッテ何カラ申シマシテモ特別ノモノデアルト
云フコトハ認ムルト斯ウ言ヒマス、而シテ是ニハドウモ他ノ鈞合ガアルカラ賛成ト云フコト
ハ言ヘナイ、同意ト云フコトハ言ヘナイト云フコトガ、政府委員ノ辯明デアリマスガ、(「モ
ウ分ッダ」ト呼フ者アリ)是デモウ宜シケレバ此所デ止メマセウ、ドウゾ滿場一致ヲ以テ可
決アラントラ望ミマス

〔贊成〕ト呼フ者アリ

○恆松隆慶君 本案ハ異議ノナイ問題デアリマス、ドウカ讀會ヲ省略シテ委員長報
告通リ決セラレンコトヲ望ミマス

○議長(長谷場純孝君) 本案ハ讀會ヲ省略シテ委員長ノ報告通リト云フコトニ御
異議ハアリマセヌカ

貴族院及衆議院速記技手恩給並遺族扶助料ニ關スル 確定議

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(長谷場純孝君) 御異議ガナイト認メマスカラ、其通リ決定致シマス、本案ハ是ニテ
確定 日程第十四、第十五ハ同一ノ委員ニ付託セラレタルニ依リ、併セテ委員長
ヨリ報告ガアリマス 委員長大岡育造君

第十四

關稅定率法輸入稅表中改正法律案
案(千田軍之助君外六名提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

第十五

關稅定率法輸入稅表中改正法律案
案(藤井善助君外一名提出)

第一讀會ノ續(委員長報告)

(大岡育造君登壇)

○大岡育造君 關稅定率法輸入稅表中改正法律案ノ結果並ニ經過ヲ報告致シマス、此案ハ同シ表題ノモノガソウ一件アリマシテハ千田案、一ハ藤井案ト云ヒマセウ、此兩君カラ別々ニ出タモノヲ一括シテ付託サレマシタモノヲ調査致シマシタノデアリマス、今日此所テ報告ト致シマシテハ此二案ヲ一案ニシマシタ、千田君ハ玄米及

初、小麥、大麥其他ノ穀物ニ關シテ修正案ヲ提出セラレタノデアリマス、藤井君森本君ハ白米ニ對シテ關稅ノ改正ヲ提出セラレタノデアリマス、ソレヲ一ツニ合シマシテ一案ニ作リマシタ、即チ御手許ニ回シマシタ通り關稅定率法輸入稅表中ノ十トアル所「米及初、一、白米每百斤一圓五十錢、二、玄米其ノ他每百斤一圓」此報告ノ中ニ唯「其ノ他」トアリマスケレドモ「玄米」ト云フ字ヲ加ヘルコトヲ忘レマシタノデアリマスカラ、此所ニ加ヘテ置キマス、其他ハ一々ハ讀ミマセヌ、多少ノ修正ヲ加ヘテ大麥ニモ小麥ニモ「オートミール」ニモ及ンデ居リマスノデアリマス、是ガ委員會ニ於テ決定シタルコトデアリマス、此決定ヲ致シマスル、委員會ノ經過ハ五回程委員會ヲ開キマシテ政府ヨリモ多クノ調書等ヲ取寄セ、尙外國ニ派出視察シマシタル技師等ニモ報告書ヲ徵シ説明ヲサセマシ

テ然ル後此決議ヲ致シマシタ、委員會中三名ノ反對ガアツテ、其他ハ修正ニ同意デアリマス、其反對ノ一人ハ千田案ノ如クニ玄米ニ對シテハマダ是ヨリモ高イガ宜シイト云フ意味ニ於テ反對ガ一人デス、ソレカラ今一人ノ反對ハ此問題ハ尙研究ヲ遂ゲタイカラシテ來年マデ懸案ニシテ置キタイト云フ反對ガ一人、是ガ淺野君、純然タル反對ヲ唱ヘタノガ鈴木力君、是ガケノ外ハナイノデアリマス、以上ガ委員會ノ經過デアリマス、此委員會ニ於テ取調ベマシタ事項此案ヲ決シタメニ參考トスベキ重要ノ事項ト認メルモノヲ「一事實」カラ報告ヲ致シテ置キマス、此輸入米ガ毎年ダレ位アルカト云フコトヲ見スルニ、最近ノ三年ヲ報告致シマセウガ、三十九年ニ於テ二百四十萬石、ソレカラ此端ハ拾アマスル、四十年ニ於テ二百七十萬石、四十年ニ於テ二百九十萬石、ソレカラ此端

分マデガ斯ウ云フ結果ニテ居リマス、金高ヲ申シマスルニ三十九年ニハ二百六十萬圓、四十年ニハ二百三十萬圓、四十年ニハ二百二十萬圓、是ガ外國ヨリ輸入ル米ノタメニ我ニガ仕拂ウタル金高デアリマス、昨年ハ非常ナル豐作デアッタガ本年ハ輸入米ガアルヤ否ヤト云フコトニ付テハ疑問ガアルヤデアリマスカラ、此點ニ付テモ調べテ見マシタガ、大藏省ノ管轄スルコトデアリマス、昨年ノ一月ニハ四百四十萬圓アル、即チ本年ノ一月ニ約百二十餘萬圓ノモノガ入リマシタ、昨年ノ一月ニハ四百四十萬圓アル、今年ハ百二十餘萬圓、今年ノ方ガ少シイ、而シテ一月ノ輸入高ハ百四十萬圓アルカト申シマスルニ本年ノ一月ノ高ハ百餘萬圓、昨年ノ輸入高ハ百四十萬圓アルカト云フコトハ九十六萬圓デアリマス、昨年ト今年ト

ニ於テ二月ノトコロハ實ハ大差ガナイノデアアル、豐年ノトキニ於テモ非常ナル豐年デナイ場合ニ於テモ輸入米ハ既ニ入リツ、アルト云フコトガ之ニ依ッテ知リ得ラレルノデアリマス、ソレカラ是等ノ米ガ何處々カラ來ルカト云フコトハ御承知デモゴザイマセウガ、參考トスベキモノデアリマスカラ御報告申シテ置カウト思ヒマスルガ、多クハ英領ノ印度、緬甸或ハ暹羅又ハ佛領ノ支那交趾支那等ノ方面カラ多ク輸入サレルノデアリマス、此外ニハ朝鮮カラ輸入スルモノガアリマスル、朝鮮モ初メハ其數ガ少ナウゴザイマシタガ、近頃ハ大分進

步致シマシテ輸入ノ約二五厘カ七厘マデハ行クヤウニナリマシタ、テ最初ノ程ハ英領印度、佛領印度ノ方ガ甚ダ多ウゴザイマシタガ、此方ハ段々減リマシテ今ヤ臺灣カラ輸入スルモノガナカク、多クナリマシタ、臺灣カラ輸入スルモノモ朝鮮カラ輸入スルモノモ、大方同ジ度合ノ二五厘カ七厘マデ行クヤウニナッタノデアリマス、金高デ申シマスルニ六百萬圓カラ七百萬圓程ツ、ノモノガ、吾々ノ食料ニ供セラルヤウニナッテ居リマス、此外ニ尙報告スベキコトガ多クアリマスルガ、イッレ討論ノ際ニ申ス方ガ宜カラウト思ヒマスカラ、是ガケノ報告ヲ申シテ置キマス

(大岡育造君ノ演說中議長長谷場純孝君議長席ヲ退キ、副議長肥塚龍君議長席ニ著ク)

○副議長(肥塚龍君) 諸君ニ御諮リヲ致シマス、唯今委員長ノ報告ノアリマシタ日程第十四、第十五ヲ一括シテ議題ニ供スルト云フ、是ニ御異議ハアリマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副議長(肥塚龍君) 然ラバ第十四、第十五ヲ一括シテ議題ト致シマス——淺野陽吉君

(淺野陽吉君登壇)

○淺野陽吉君 本員ハ唯今大岡委員長カラ御報告ニナリマシタ通りニ、委員會ニ於テハ此問題ノ影響シマスルコトハ商工農其他一般消費者ニ及ンデ頗ル大ナル問題デアツテ、而シテ其内容ハ純粹ノ經濟問題デアル、サウシテ其及ブ所ノ大ナル點ヨリ判斷致シマスレバ、殆ト我國ノ國是問題ト見テ差支ナイダケノ價值ヲ有ッテ居ルカラシテ、此冬ノ議會マデ成ル我國ノ國是問題ニシテ欲シイト云フ動議ヲ出シタノデアリマス、併シソレハ不幸ニシテ消滅致シマシタカ、其時ニ本員ハ此動議ニシテ消滅シタル以上ハ絕對反對ノ說ヲ取ルト云フコトヲ保留シテ置キマシタカラ、本日ハ已メ得ズ絕對反對ノ說ヲ茲ニ述ベルノデアリマス、御承知ノ通り我國ノ農業ハ千有餘年來 既ニ丹精ヲ凝ラシ盡シテ是カラ先キ前途ノ老若如何ト問フナラバ殆ト老熟ノ境ニ入ルモノト云フハナケレバナラス、ソレ故ニ前途ノ開拓スル上ニ於テハ耕地整理、肥料ノ選擇、害蟲ノ驅除其他耕作方法ノ改良ノ如キ、純農業的方法ニ移ラナケレバナラス時代ニ移ッタ今日ニ於テ、農業ヲ以テ國是トシ、唯一ノ基本トナサル、諸君ヨリ本案ノ叫ビガ出ルノハ、此議會ニ於テアルベキ聲ト私ハ承認ヲ致シマス、併ガナラ此問題ハ提出者第一ノ目的ハ本案通過

以テ米價ヲ上ゲテ而シテ農民ヲ保護シタイト云フ御趣意ヨリ出タノデアアル、ソレ故ニ若シ目的通りニ本案ガ成立シタモ米ノ直段ガ上リナカッタラバ本案ノ提出者、或ニ贊成者ハ御失望ニナルベキコトコロ案デアアル、ソレト反對ニ若シ米ノ直段ガ上リナラバ商工其他一般消費者ニ取ツテハ或ハ産業ノ問題トナリ、或ハ生活費ノ問題トナッテ由々キ關係ヲ有ッテ居ルコトコロ案デアリマス、無論私等デモ農業ノ進歩ト云フコトヲ圖ル上ニ於テハ一言モ反對ハナイノデアリマス、又農事ノ改良ト云フコトニ於テ農ヲ擁護スルコトノ點ニ於テモ亦一言モ反對ハナイノデアリマス、併ガナラ此案ハ即チ間接ノ保護デアツテ動モスレバ米價ガ上リハセヌカト云フ疑ノアル案ニ於テハ、其關係スルコトコロノ影響ガ廣キガ故ニ、本員ハ茲ニ承認スル譯ニイカヌデアアル、一面カラ見レバ米價騰貴ノ恐レアリトシタラバ、是ハ社會政策トシテノ重大ナル問題ニ外ナラヌデアリマス、農ノ利益ト商工ノ利益ト或點ニ於テハ一致スルケレドモ、或點ニ於テハ一致スルコトコロノコトガアルト云フコトハ、諸君モ既ニ御承知デモゴザイマセウト思フ、此點ニ於テ私ハ大ナル疑

ヲ茲ニ提供シテ而シテ提出者並ニ本案ノ贊成者ニ向ッテ御反省ヲ促スデアアル、茲ニ

至テハ果シテ千田君ノ提案ノ如ク、又委員會ノ査定ノ如クシテ、此案ノ成立ヲ計ツタ
ナラバ、果シテ米價騰貴セバヤト云フコトヲ論斷シナレバナラヌ、此事ニ至テハ私ハ二
箇ノ相反シタルコトニ付テ論斷ヲ下サウト思ヒマス、其一ツハ或ル場合ニ於テハ此關稅
ハ米ノ直段ニ少シノ關係ヲモ及ボスコトハナイト云フコトデアル、即チ此關稅案ノ成立ノ
タメニ米ノ直段ガ騰貴スルコトハ決シテナイト云フ場合ト、或時ニハ非常ナル影響ヲ受
ケテ米ノ直段ニ此關稅ガ及ボシテ而シテ恐レベキ米價ノ騰貴ヲ見ルコトガアルト云フコト
デゴザイマス、此二ツノ事實ニ相反スルヤウデアルケレドモ、共ニ本案提出者並ニ農業ヲ
以テ國家ノ大本トナサルコトコロノ人ニハ同ジク失望ヲ與ヘルコトコロノコトデアル、米ノ直段
ニ少シノ關係モ及ボサヌト云フ場合ハ如何ナルトキデアルカト云ヘバ、即チ米價ガ平年作以
上ヲ保ツタ場合ニハ少シモ米ノ直段ニ影響スルコトハナイト云フコトデアル、コレト
反シテ若シ凶作ノ場合ニ於テハ存外思フタヨリモ強キ影響ヲ以テ米ノ直段ニ影響シテ、
而シテ米價ハ大ニ之ガタメニ騰貴スルコト云フ私ノ論斷デゴザイマス(ノウク)併テカラ此
二箇ノ事實ハ共ニ「ノウ」ト云フ諸君ニ向テ決シテ満足ナル希望ヲ充タスコトハ出來ナイ、
アベコベニ失望ヲ與ヘル法案ナリト云フコトヲ云ハナレバナリマセヌ(拍手起リ)島田君
ノ口吻ナリト呼フ者アリ(ソレデ事實ハ如何ニ語テ居ルカ、我邦ノ事實ヲ今カラ述ベマ
スレバ)(モウ分ッテ「呼フ者」アリ)外國ノ米ハ我邦ノ消費高ノ中僅ニ一部分——一割以
下ノ五六分シカ之ハ占メテ居ラス、大部分ハ我邦ヨリ生産スルコトコロノ米デ我邦ノ人
口ハ賄ッテ居ルノデゴザイマスカラ、一部分ヲ占メテ居ル外米即チ蠶豆ノ上ニ小豆一ツヲ
載セル程ノ分量モナイトコロノ小サイ分量ガ、外國米ニ依ッテ供給サレテモ我邦ノ米價ハ決
シテ動キハシナイ(ノウク)「ヒヤ」ト呼フ者アリ、我邦ノ消費高ヲ見テ見マスレバ
凡ソ十箇年ノ平均デ四千四百五十萬億程費ヤスノデアル、其中ノ外國ヨリ仰グ外米ノ
分量ハ幾千アルカト云フコトヲ檢査シテ見マスル、農商務省ノ統計ニ依レバ百五十萬石
カラ、多イトキニ三百萬石ニ外ナラヌノデアル、既ニ大部分ハ我邦ノ産米ニ依ッテ充
タサレ得タル共ニ僅ニ百五十萬石カニ二百萬石ノモノガ、入ッテ來タトコロガ——之ニ
供給ヲ仰グトシタトコロガ、我邦ノ米價ガ之ニ依ッテ決シテ動クト云フコトハナイトデゴザ
マス、平年作以上ノトキニ於テハ決シテ外米ノ爲ニ米價ハ左右セラレヌノデ、ヤハリ我邦ノ
供給米ノタメニ米價ハ左右サレルノデゴザイマスカラ、此點ヨリ言ヘバ豐年ノトキニハ縱令
此關稅アリト雖モ、我邦ノ米價ハヤハリ下落スルノデゴザイマス(ノウク)此點ニ至ッテ私
ハ米ノ直段ガ騰貴ノ時ニ關稅アリト雖モ影響シナイト云フ懸念ヲ「ノウ」ト云フ諸君ニ失
望ヲ與ヘル上云フコトヲ論斷シテ差支ナイト思フ、此點ヨリ言ヘバ、何レノ場合ニモ此關稅
案ガ通過スレバ米ノ直段ガ騰貴シテ以テ農民ヲ保護スルコトガ出來ルト思ハル、諸君ハ、恐ラ
クハ御失望デハナカト思フ(ノウク)「ソレト反對シ我邦ノ米價ガ非常ナル凶作ヲ告ゲ
タ場合ニハ如何ニナルカ、此時ニハ無論「ノウ」ト云フ諸君ノ言ハレル如ク我邦ニハ大ニ此
關稅ガ米ノ上ニ働イテ、而シテ米價ハ騰貴スルコト云フコトヲ承認致シマス、私モ御同意
デゴザイマス、此案ガ凶作ノ場合ニハ非常ナル力ヲ以テ關稅ノタメニ騰貴スルコト云フコト
ニ付テハ深く考ヘナレバナリマセヌノハ、地主ノ利益ト小作人ノ利益ト此場合ニ於テ一
致スルヤ否ヤト云フコトガ疑問デアリマス、(餘リ氣取ラナイデ早クヤッテ與レ)「呼フ者」
アリ(私ハ唯說ヲ述ベバカリデゴザイマス、(「屈スル勿レ」ト呼フ者アリ)此地主ト云フモノ
ガ此場合ニ於テ利益ヲ得ルケレドモ小作人ト云フモノハ決シテ利益ヲ得ナイト云フコトヲ
私ハ言ハナレバナラヌ、ナゼナレバ諸君、此場合ニ於テハ米ノ直段ガ騰貴スルノデゴザイマス
ルカラシテ、小作人が取得シタル米ヲ金ニ換ヘレバツレダケ騰貴シタダケ己レノ收益ハ

増スノデゴザイマス、此時ニドウ云フ經濟ノ理法ガ行ハル、デゴザイマセウ、勞力ハ其勞力
ノ報酬即チ勞力ノ收益ノ多イ處ニ向テ流レテ往クト云フコトハ經濟ノ理法デゴザイマ
ス、若シ小作即チ農業者ノ收穫ガ米ノ直段ガ騰貴タメニ増シタ場合ニハ其方ニ向ッテ
農業勞働者ハ増スノデゴザイマス、市街ト農村トノ分界點ニ於テハ半農半商而シテ半
工ノ勞力者ガ己レノ收益ノ多キニ從ッテ移ッテ往クコトコロノ勞力ガアル、之ガ其場合ニハ
小作人ノ方ニ流シテ往クシテ茲ニ小作料ノ遞減即チ勞銀ノ平均ヲ得ルノデアル、之ハ
欺カザル經濟上ノ理法デゴザイマスガ故ニ、地主ハ利益ヲ得ルケレドモ米價ガ騰貴タメ
ニ小作人ハ左程ノ利益ヲ得ヌト云フコトハ此經濟ノ理法ガ示スノデハゴザイマセヌカ、
(ヒヤ)「而シテ若シ此米ノ直段ニ連レテ一般ノ物價ガ騰貴シタナラバドウデゴザイマセ
ウ、米價ノ騰貴ハ言フマデモナク主タル食物ノ騰貴デゴザイマスルガ故ニ、總テノ勞働者
職工ヲ通ジ一般消費者ヲ通ジテ之ハ生活費ノ騰貴デアルト云フコトハ申スマデモナイ、
己レノ食フベキ生活費ヲ往クベキトコロノ金ガ——費用ガ増シタナラバ總テ勞働者ハ船大
工デモ、鐵工デモ總テノ勞働者ハ己レノ勞力ノ價ノ騰貴ヲ望ムノデゴザイマセウ、己レノ
勞力ノ報酬ノ増加ヲ要求スル次第デゴザイマス、之ヲ救フノハ唯一ツデゴザイマス、即チ
勞銀ノ増加ト云フコトヲ圖ルノ外ハナイトデゴザイマス、其結果ハ農業ニ對シテハ生産
費ノ増加デアルガ故ニ、總テノ品物ガ此米價ニ連レテ騰貴スルコトモ經濟ノ理法ニ於
テ明カニ分ルノデゴザイマセヌカ、之ヲ例ヘテ言ヘバ米價ハ總テノ物ノ直段ノ大綱デゴザ
イマス、其大綱ヲ一ツ騰貴レバ百ノ目即チ百ノ網目タル一般ノ物價ハ騰貴スルノデゴザ
マス、總テノ物價ガ此米價ニ連レテ騰貴スルコトハ論ヨリ證據、過去十年間ニ渡リ日本銀行
ノ調査ガ明カニ示シテ居ルノデゴザイマス、其證據ハ明治三十三年ノ十月ノ米價ト一
般ノ物價ノ平均ヲ百トシテ、日本銀行ノ調査ヲ見テ見マスレバ之ハ決シテ私ガ作ッタルデ
ゴザイマセヌ、日本銀行ノ印刷致サレタル調査書類ニ依ッテ見マスレバ明治三十三年十月
ノ物價ト米價ヲ百トシテ年々比較ヲ取リマスル、斯ウ云フコトニナルノデゴザイマス、三
十二年ノ米價ガ百デゴザイマス、而シテ一般ノ物價ハ其時價ハ其時九十九ト云フ位
ヲ保ッテ居ル、三十二年ニハ米價ガ百二十トナッテ居ル、而シテ一般ノ物價モ亦
騰貴シタトナッテ居ラス、(明治初年カラノ分ヲ舉グベシ)「呼フ者」アリ(ソレカラ三
十九年ノ米價ガ百二十八ト騰貴タトキニハ一般ノ物價ハ百二十トヤハリ騰貴シテ居ル、四十
九年ノ米價ガ百四十二ト騰貴タトキニハ一般ノ物價モ亦百二十九ト騰貴シテ居ルノデゴザ
イマス、其通リニ米ノ直段ガ騰貴スルコトニハ、ソレニ連レテ一般ノ物價モ亦騰貴シテ居ル以
上ハ此事實ハ吾々ガ此處デ打消スコトハ出來ナイノデアルカラシテ、初メ收穫シタ米ヲ
小作人が金ニ換ヘマシタトキニハ、米ノ直段ノ低イトキヨリモ懷ノ中ノ金ノ數ハ多イデゴザ
イマセウ、ケレドモ之ヲ一年ノ間自分及家族ノ食料タル鹽魚デアルトカ、或ハ著物デアル
トカ、石油デアルトカ、酒デアルトカ、總テノ生活ノ資料ニ換ヘマシタ後ニハ、前年通り懷
ノ中ニハ一文モ殘ラズシテ、ヤハリ左程ノ利益ハナカッタト云フコトニナルデゴザイマセヌカ
(拍手起リ)是カラ考ヘテ見ルトチヨット本案ノ提出ヲシテ農民ヲ喜バシテ此案ガ通過ス
レバ御前達ノ所得ハ米價ガ騰貴シテ利益ヲスルコト云フテ喜バセラレタ諸君ノ功績ハ一年ノ
間ニ小作人ハ暮シテ見テ總テノ生活ノ原料ヲ換ヘテ見ルト一文モ殘ラヌト云フコトニナ
テ、初メ諸君ヲ怒ムノデアル、茲ニ至リテハ少シモ本案提出者ノ農民ヲ喜バセラルトコ
ロノ理由ハ立タナイデ、米價騰貴ノ場合ニモヤハリ消ヘテ、ヤハリ諸君ハ失望サラルデア
ルト云フテ差支ハナイト(ノウク)「ヒヤ」ト呼フ者アリ(而シテ此米價騰貴ガ我國ノ
商工業並ニ貿易其他勞働者一般ノ消費者ニ對シテ如何ナルコトヲ及ボスカト云フト、

之ハ由々シキ問題デゴザイマス、生活費増加ヨリ來テ勞働者ノ賃銀ヲ増給ヲ要求スル
コトニ向テ救済スベキ策ハ唯勞銀ノ増加デゴザイマス、其結果ヨリ總テノ品物ノ生産
費ノ増加ト云フモノハ諸君モ御承知下サルデアラウ、其ツレガ貿易ニ及ボストコロノ結果ハ
如何デゴザイマス、勞銀ノ増加生産費ノ増加而シテ品物ノ原價ノ騰貴ト云フコトハ
諸君貿易上ニ於ケル輸出ノ困難デアツテ、輸入ノ容易ト云フコトハゴザイマセウカ（拍手
スル者アリ）此輸入ノ容易ニテ輸出ノ困難ト云フコトハ言フマデモナク正貨流出ノ増
進デゴザイマス、ツレ故ニ一般消費者ノ點ヨリ見レバ本案ハ生活難ノ問題デアル、而シ
テ此政府委員席ニ居ラル、如キ月給取、一般勞銀ニ依テ衣食スルコロノ職工ノ如
キモノニ向テノ即チ征伐案デアル、月給取征伐案、勞働者征伐案、而シテ貿易ノ上ニ
於テハ輸入促進案、正貨流出ノ促進案ト云フコトハナラバ、農本位ノ本家即
チ農商務省而モ其農務局ノ中ニハ先づ僅カノ月給取取ルコロノ判任官諸君ハ先ヅ其
机ヲ枕トシテ餓死スルデアラウト云フコトヲ言ヒタイ（ツレナコトガアルカ、馬鹿ヲ云フナ）
呼フ者アリ（若シ斯ウ云フコトニナリマシタラバ、茲ニツノ要求ヲ致シタイノハツレデモ
宜シ）ツレデモ宜シイガ若シ米價が豫想ノ如ク騰貴シタリシテ、我國ノ農產物
が非常ニ増加シテ而シテ國ノ富が益々増加スラバツレデモ宜シ、私ハツレデモ承認シマス、
併ナガラ我國ノ農業ノ程度ハ何レノ處マデ餘地ガアルカト云フコトヲ見テ見マス、農
商務省ノ調査ニ依リマス、今カラ總テノ有ラニ農事改良方法ヲ用テ、而シテ二十
年ノ歲月ヲ要シタ上ニ於テ、即チ農商務省ノ三十年計畫トモ云フベキモノ、其中ノ諸君
ノ半ハ既ニ故人トナリ、半ハ白頭ノ翁トナツタ三十年後ニシテ、漸ク我國ノ米作ノ程
度ハ六千七百石ノ外ハ取レナイト云フコトハ、諸君、此程度ガ何時實現スルカト
云フコトハ未ダ覺束ナシデアアル、私ガ謂フベキコトハ依ルト米價ハ二十六年カラ今
日マデニハ千田君モ能ク御調ベダラウ、米價ハ二十六年カラ今日マデ如何ニ變化シタ
カト云ハバ、十二圓代ヨリ十六圓代ヲ破ツテ居ルデアアル、甚シキ騰貴デゴザイマス、十二
圓代カラ十六圓代マデ破ル程ノ此最近數年間ニ米價が昂ツタナラバ、經濟ノ理法ニ
從テ我國ノ耕作面積モ大ニ膨脹シテ居ナケレバナラヌ管デアル、併シナガラ事實ヲ見ル
ト少シモ膨脹ハセトコロヲ見マス、如何ニ米價ヲ政策ヲ以テ釣上ゲデモ、我國ノ國土
其モノ、天然ニ於テ最早農作ノ増加ト云フコトハ許サヌト云フコトニテ居ルと思ハレ、
二十六年ニハ我國ノ米作ノ耕作地ハ二百七十町歩デゴザイマス、而シテツレガ十六圓
代ヲ破ツタ、四十年ノ統計ヲ見テ見モハリ二百九十町歩僅ニ十數町歩増シタ
ノデゴザイマス、二十六年耕作町歩ガ二百七十町歩、四十年ガ二百九十町歩
シカ出來ナイデアアル、之ヲ見テ見マス、米價ハ十六圓代ニ引上ゲテモ耕作地ハ既ニ
増スコトハ出來ナイト云フコトハ、既ニ證據デアル、斯クマデモ最早如何デアル政策ヲ執ツ
モ農業ノ範圍擴張ト云フコトハ我國ノ國土天然ガ許サヌト云フ場合ニ於テ、米價ガ若
シ騰貴シタラバ農民ノ中地主ハ幾ラカ利益スラウガ、其他一般ノモノニ於テハ甚
シキ大ナル問題ヲ惹起スト云フ本案ノ如キモノヲ吾ハ農業商業工業者其他一般
勞働者ノ利益ヲ犧牲シテモ此國ノ地主ヲ保護シナケレバナラヌデゴザイマセウカ、（商
業保護）下呼フ者アリ）如何ニ保護シテモ農產が增サズ其國ノ富が增サナイ以上ハ保護

スル甲斐ハナイデアアル、斯ク論ジ來レバ農民ノ一般即チ商工業者、一般勞働者其他
消費者ノ利益ヲ犧牲シテ、而シテ此地主ヲ保護シナケレバナラヌ程國ハ農業地主ニ對
シテ義務ハ有ツテ居ラスノデゴザイマス、（ヒヤ／＼）又此韓國ノ經營ト云フコトヲ考ヘマス
レバ農業ヲ除イテ殆ド我國民ノ韓國發展ノ餘地ハナイデアアル、漁業ヲ除イテ殆ド韓國
發展ノ餘地ハナイデアゴザイマス、ツレ故ニ韓國經營ノ生命ハ米價ニアルト云フ私ハ差
支ナイと思フ（拍手スル者アリ）而シテ我國民ハ韓國ニ往テ耕シタ米ノ一般ハ何處ニ諸
君落著イテ居ルデアアル、本國ノ日本ニ來テ之ヲ消費スルニアラザレバ、本國ノ日本ニ來
テ賣ルニアラザレバ、韓國ニ於ケル農業ノ發展ハムカシイデアリマス、韓國ノ米ガ出ル
トコロノ輸出ノ中殆ド全部ハ我日本ニ來テ入デ居ルト云フコトハ統計ノ示ストコロデ
ゴザイマス、四十一年ノ韓國米輸出ハ六十萬石ニ近イ、其中ノ約五十萬石ハ我帝國ニ
來テ居ルデアゴザイマス、然レニ之ガ本案通過後ニ於テ如何ニナルデアゴザイマセウ、諸君
一石約三圓七十錢程ハ此關稅ノタメニ本案通過後ニ於テ如何ニナルデアゴザイマセウ、諸君
加ハルデアゴザイマス、今ハ朝鮮ノ米ガ仁川デ十圓程致シテ居リマス、ツレガ日本ニ持テ來
ラル、ノニハ本案通過スレバ四圓程ノ諸掛ガ掛ルデアゴザイマス、算盤ノ上ニ四圓程ノ
諸掛ガ掛ルコトハ吾ミツ欺カヌデアゴザイマス、シマスレバ韓國ヲ離レテ韓國米ガ大阪ニ著
イタトキニハ十四圓ノ原價ヲ費シテ居ルデアアル、即チ韓國米ノ原價ハ十四圓ト云フコト
ニナルデアアル、所ガ韓國米ノ質ガ少シ惡ルカ又砂ガアルト云フコトハ大阪市場デハ日本ノ米
ニ比シ一割五分減價ナケレバ賣レナイデアリマス、諸君今大阪市場ニ於ケル我國ノ米
ハ十二圓八十錢臺デアル八十錢臺デアル、ツレヨリ一割五分引ケバ十二圓臺デナケ
レバ朝鮮米ヲ賣ツテ益ヲシナイノニ、原價ト費用ガ既ニ十四圓掛ツタ以上ハ、朝鮮米ガ
我國ニ來ルト云フコトハ美事本案ニ付テ征伐サレ盡シ、其生命ハ絶ルデアアル、是ニ於
テ朝鮮ノ經營ハ斯ウ云フコトニナル、米ノ輸出ガ日本ニ來ヌト云フコトニナレバ、朝鮮ト
日本トノ貿易ハ片貿易デアリマス、片貿易決シテ朝鮮ニ於ケル我國ノ發展ノ策ハナイ
デアアル、而シテ我國ノ朝鮮ニ對スル輸出モ亦之ガタメニ妨害セラル、ノデアリマス、ナゼ
ナレバ韓國ニ於ケル購買力ヲ減ズルガ故デアアル、斯ノ如キ重大ナル關係ヲ朝鮮ノ經營ニ
及ボストコロ、即チ朝鮮ニ於ケル我國人ノ發展ヲ根柢ヨリ破ル、如キ本案ノ如キモノヲ
御承認ニナルナラバ如何ガ故ニ吾ハ二度マデモ戰フシタデアアルカ、何ガ故ニ國庫ノ補助
マデモ與ヘテ東洋拓殖會社ヲ作ツタデアアルカ、（默レ）「何ヲ云フカ」「謹聽」ト呼フ
者アリ（諸君ガ如何ニ本員ノ云フ所ヲ妨害ナサレテモ事實ガ斯ク證明スルデアナイカ、ツ
レカラ穀物ニ關稅ヲ置イテ内地農業ヲ保護スルコトモ先ヅ宜シイトシテモ、ツレハ
國柄ニ依ルト思フ、我國ハ元來動モスレバ國民ノ食料トシテ米ノ作高ガ少ナイ國デゴザイ
マス、十年間ノ平均ヲ見テモ年々百萬石カラ三百萬石程外國ニ米ノ供給ヲ仰ガナケレバ
ナラヌ國デアアル、ツレナラバ成ベク米ヲ廉クシテ生活ノ容易ヲ圖ツテ而シテ商工業ノ繁榮ヲ
圖ツタ方ガ日本ノタメ利益デハゴザイマセウカ、我國ノ購買力即チ消費力ガ農民ニ多イ
ト云フコトハ私ハ無論同情ヲ表シマス、其故ニ農家ノ利益ヲ圖ツテ而シテ商工業者ガ供給
スル品物ニ向テ消費力ヲ増スト云フコトモ私ハ同意ヲ致シマス、併ナガラ我國現在ノ國
富策ハ獨リ内地ノ購買力位ニ依賴シテ宜イトキデアゴザイマセウカ、私思フニ廣ク海外ノ市
場ヲ相手トシテ廣イ海外ノ購買力ヲ相手トシテ、即チ輸出ヲ増進シテ國ノ富ヲ圖ルベキ
時期デアルト思フデアアル、然レニ米ガ足リナイ國ニシテ關稅ヲ二倍モ上ゲテ而シテ米ヲ
成レバ入レマイトスルコトハ果シテ國ノタメニ利益デゴザイマセウカ、我對岸ノ支那ハ開
拓スレバ幾何デモ殆ド滿目皆平原ト云フ荒蕪地ガアツテ、大ニ農作ヲ興シテ而シテ餘ツタ

シマス、(「ノウク」)又千田君其他同論者ハ農民ノ負擔ガ甚ダ重過ギルガ故ニ米價ヲ上
ゲル關稅政策ヲ執ツテ、之ヲ救済シナケレバナラヌト論ジラレタ、諸君負擔ノ重イト云フコ
トハ商業モ工業モ其他一般ノ勞働者モ亦悉ク戰後ハ負擔ガ重イデアル、此點ヨリ言
ヘバ農業者モ、工業者モ、商業者モ、勞働者モ、總テ共難儀デゴザイマス、獨リ農業
者ノ負擔ガ重キガ故ニ、關稅政策ヲ以テ米價ヲ引上ゲテ而シテ之ヲ救済シナケレバナ
ラヌト云フ國ニ——此帝國ハ少シモサウ云フ義務ハ有タヌデアル、私ハ此商工業者ノ間
ニハ正直ニ極ク眞面目ニ事業ヲ經營シテ居ル者アリト雖モ、時トシテハ景氣ノ非常ナ變
動ノタメニ破産アルコトヲ聞クケレドモ、未ダ農業者ハ生活難ノタメニ破産シタルコトヲ
私ハ聞カヌデアル、(「馬鹿言ヘ」破産サヘ知ラナイ)ト呼フ者アリ)諸君、斯ノ如ク世ノ
中ノ景氣ト云フモノモ維新以前ノ如ク唯單ニ米價ノ善惡、農民ノ善惡ニ依ツテ動クニ
アラズシテ、多クノ事情ニ依ツテ動クノデカラシテ、本案ハ如何ニシテモ私ハ承認ガ出來ナ
イデアル、私ノ論ズルトコロガ不幸ニシテ——此壇ニ於テ論ジタルトコロガ不幸ニシテ破
レタナラバ、ツレハ選舉法即チ衆議院選舉法ノ然ラシムルトコロデアアルト斷言シテ、私ハ
憚ラヌデアル(「其意味ヲモウ少シ説明スベシ選舉法ガ何故ニ惡イカ」ト呼フ者アリ)
ツレ故ニ私ハ本案ノ否決ヲ望ミマス(拍手起ル)

○副議長(肥塚龍君) 大岡育造君

(大岡育造君登壇)

(拍手起ル)

〔長ク願ヒマス〕「ノウク」大政治家ハタツタ一分間デヤツテシマヘ」ト呼フ者アリ

○大岡育造君 諸君、本問題ハ唯今反對論者ノ淺野君カラ申サレタルガ如クニ實ハ
餘程重大ナル問題デアル、國家ノ大部分ヲ占メテ居ルトコロノ農業者ノ上ニ大關係ノ
アルノミナラズ、何レノ國ニ於キマシテモ其國家ノ經濟ニ關シテ重大ナル關係ヲ有ツ問題
デアリマス、斯ノ如キノ問題ヲ揭ゲテ而シテ此機會ニ細カニ討論ヲ致スト云フコトハ私ノ
最モ光榮トスルトコロデアリマス、唯遺憾ナルハ私が餘リ深く農事ニ通ジマセヌタメニ或
ハ要領ヲ失フコトガアルカモ知リマセヌガ、力メテ其要ヲ得ルヤウニ自ラ祈ル譯デアリマス、
(「三稅廢止ノ言譯」問題ト呼フ者アリ)此問題ハ三稅廢止ヨリハ遙ニ上ノ問題ト私
ハ思フ(ヒヤノ)「三稅」廢止ハ一時ノ問題デアリマスルケレドモ、此農業ガ健全ニ發
達シ得ルヤ否ヤト云フコトハ國家ノ永久ナル問題デアリマスルカシテ、此事ハドウゾ御承
知ニナリタイノデアリマス、(「要領ヲ得テ下サイ」ツナナ三百のニ言ハズニ)默レト呼フ
者アリ)而シテ淺野君ハ吾々ヲ以テ單ニ農黨ト云フコトヲ言ハレマスルケレドモ、是ハ私が
一言辯解シテ置キタイと思フノデアリマス、農業家ガ不利益ニ陷ツタ場合ニ決シテ商工
業者ノミ利益ニ居ルコトハ出來ナイノデアル、(「其通り」ト呼フ者アリ)日本ノ人口ノ稍
七分ヲ占メテ居ル者ハ農民デアリマスカラ、是ガ購買力ヲ有ツテ居ルト居ラザルトニ於
テ商工業者ニ大ナル關係ガアリマスカラハ是ハ詰リ共同ノ問題デアル、共同ノ問題デアツテ
外國ノ農業家ノタメニ壓セラルベキカ、日本ノ農業ヲ保護シテ彼レト戰ツテ彼レヲ驅逐
スベキカト云フコトハ大切ノ問題デアアルノデアル、内地ニ於ケル商業家ト工業家ノ爭ヒト
思フガ如キハ甚ダ私ハ誤解デアラウト思フノデアリマス、ツレデ吾々ヲ以テ單ニ米價ヲ引
上ゲル目的ニ於テ此事ヲスルヤウニ論ゼラル、ノハ少々其當ヲ得ナイ、成程其理由モ一
ツアルニ違ヒナイ、提案者ノ言フタコトニ其事モアルニ違ヒハナイノデアリマスルケレドモ、要
ハ我國ノ農業ト外國ノ農業トノ競爭ニ於テ確ニ勝利ヲ得ベク吾々ガ計畫スルコトニアル
ノデアル、(「ヒヤノ」)此點ヲドウゾ能ク御了承ニ相成リタイ、ツレデ又此農業ニ對シ
テ——即チ穀物ニ對シテ申シマセウ、穀物ニ對シテ關稅ナル政策ヲ採ル國ト採ラヌ國

「長ク願ヒマス」ノウク「大政治家ハタツタ一分間デヤツテシマヘ」ト呼フ者アリ

ト此二ツアル、前ノ論者ノ言ハレタ通りデアルガ、果シテ此穀物ニ付テ保護政策ヲ採ッテ居ル國ハ如何ナル國デアル、抽象的ニ之ヲ申シマスレバ國ノ勃興シテ行ク進運ヲ有ッテ居ル大國ハ如何ナル政策ヲ採ッテ居ルカ、今ヤ老衰老境ニ入ッテ漸ク日ガ暮レントスル方ノ國ハ、如何ナル政策ヲ採ッテ居ルカト云フコトヲ見ダイト私ハ思フ、(一)眼ヲ開イテ見給ヘト呼フ者アリ)北米合衆國、英領加奈陀、獨逸、佛蘭西、伊太利、奧地利、露西亞、此諸國ハ一、加奈陀ハ暫ク別トシマスガ、此諸國ガ即チ今世界ノ列強大國ト云フモノデアル、此他ニ英吉利ガ居ル、英吉利ガ取除ケマスルガ、英吉利ヲ除イテ今數ヘタ國ハ列強ト稱ヘラレル國デ、皆勃興ノ國運ヲ有ッテ居ル國デアル、此國ガ此米ニ對シテドレタケノ稅ヲ課シテ居ルカト云フコトヲ先ヅ報告シマセウ、英吉利ガ無稅デアルマスルガ、北米合衆國ガ玄米百斤ニ向ッテ三圓三十二錢ヲ課シテ居リマス、(一)問題外デト呼フ者アリ)問題外デナシ、獨逸ガ一圓十五錢ヲ掛ケテ居リマス、佛蘭西ガ一圓八十六錢掛ケテ居リマス、伊太利ガ一圓十六錢掛ケテ居リマス、奧地利ガ極ク少ク十二錢露西亞ガ二圓二十七錢掛ケテ居リマス、是ガ百斤ノ稅デアルマス、(米デスカト)呼フ者アリ)米デス、玄米デス、(是等ノ國ニ米ガ澤山出來マス)呼フ者アリ)出來デモ出來ナクデモ宜シ、能ク御聞キナサイ、而シテ無稅ト云フ國ヲ見マスルト英吉利ガ無稅デアルマス、和蘭陀ガ無稅デアルマス、白耳義ガ無稅デアルマス、瑞西ガ無稅デアルマス、丁抹ガ無稅デアルマス、葡萄牙ガ無稅デアルマス、此諸國ヲ見レバ能ク分ルデハアリマセヌカ、(此時發言スル者多シ)暫ク靜ニ御聽キナサイ、唯今申シタノハ即チ米デアルマスルガ、小麥ニ對シテモ課稅シテ自國ノ產物ヲ保護スルノ政策ヲ執ッテ居ル國ハヤハリ前ニ讀上ケタ大國列強デアル、即チ前ニ申上ケマシタ私ノ算ヘマシタ無稅ノ方ノ國ハヤハリ前ニ讀上瑞西、丁抹、和蘭陀、葡萄牙等ノ國デ、僅ニ瑞西ガ七錢ノ稅ヲ掛ケテ居ル、是モ無稅ト見デ宜シ、此類ノ國ノ眞似ヲ教ヘベキカ吾ハ此勃興ノ國運ヲ持ッテ居ル國ト同シヤウニヤツテ行クベキカト云フコトヲ考ヘテモ是デケデモ能ク分ルデアル、(拍手起ル)關稅ノ政策ヲ執ルガ宜シカ、執ラヌガ宜シカト云フコトニ付テハ議論ガ様々デアル、未ダ誰モ一定セヌト云フコトニ私ハ假リニ等敬シテ言フ、併シハ實ハ今日ノ勃興ノ政策ヲ執ラナレバナラス時分ニハ必ズ關稅政策ヲ執ラナレバナラスコトニ極シテ居ル、唯大國勃興國ニ算ヘベキ國ノ中デ取ラヌノガ英吉利デアル、此英吉利ヲ除イタ外ノ國ハ諸君皆御承知ノ通りデ、是ハ學ベキ國デハナシ、昔百年前ニ於テハエラカッタ、二百年前ニハエラカッタガ今ハ吾ハ氣ノ毒ナガラ學ベキ國デハナシノデアル、此學ベキ國ニ於テ英吉利ノ外ハ他ニアリマセヌ、而シテ英吉利ノ今日ノ狀態ハ如何デアルマスカ、此國ニ於テ是非回復シタイ、是非行ヒタイト云フ問題ガ二ツアル、何デアルカト言ヘバ英吉利ノ識者ガ切ニ望ムノハ徵兵ノ制度デアル、此徵兵ノ制度ノ實行セラヌ以上ニハ、獨逸ヲ敵ニ取ッテ如何ニ此國ヲ防護スルカト云フコトガ今日ノ英吉利ノ問題ニナッテ居ルデアル、(一)問題外デト呼フ者アリ)問題外デナシ、御聽キナサイ、今一ツハ自國ノ穀物ノ回復ヲ如何ニスルカト云フ問題デス、(ヒヤ)實業家カラ見テモ學者カラ見テモ是ハ實ニ大切ナ問題デアル、併ナガラ英吉利ノ内情ハ實業ニ付テハ十分ノ取調ハ今日付イテ居リマセヌ、或ハ言フ二箇月ノ食料ヲ自國ノ物デ保チ得ルト云フ、或ハ極端ニ言フ者ハ三週間以上ハ自國ノ穀物ヲ以テ英國國民ノ生活ハ出來ヌト云フ、併ナガラ私ガ確ニ信シテ居ルノハ英吉利ノ穀物國中デ、本國ヲ去ッテ愛蘭デケハ「ボデー」馬蹄穀デケハ十分ニ作ッテ居ル、農産物確カナ物ハ是位ノモノデアル、我日本ヲ英吉利ノ如クニシテ我農產ヲ打拾デ、シマフナラバ免モ角モデアルマスケレドモ(ノウ)苟モ我農產ヲ十分ニ保チ、之ヲ進メン

ノ農業ヲ保ッテ行ケルヤウニシナレバナラス、又斯様ニ申シマスルト云フト唯農業ノ最負ヲシテ商工業ニ粗末ナルガ如ク思フ人モアルカモ知レマセヌガ、御考下サイ斯ウナルノデス、農業ナルモノノ外ニ商工業ガ確カニ發達シナレバナラス、私ハ發達ヲ祈ル者ノ一人デアルマスケレドモ、今日ノ現狀ニ於テ如何デアルマスカ、少シバカリ昨年カラ不景氣ガ續クト云フト何所ノ工事業モ事業ヲ緊縮シマス、機關モ休マセマス、此狀態ノ未ダ幼稚ナ商工業ニ依頼シテ我農業ノコトヲ忘レテ居ッタナラバ如何ナル慘況ニ陥ルデアルマセウ、(ヒヤ)「ノウ」呼フ者アリ)職工者デモ直キニ解僱サレテシマウモノハ澤山アルデハアリマセヌカ、斯ウ云フコトヲ能ク御考ヘニナルト唯偏シテ商工業トミ名乗ルニ及バヌ、是ハ共同ノ問題トシテ研究スルガ宜シノデアル、ソコデ我國ニ於テモ農業ヲ諸君ト共ニ之ヲ助ケルコトシテ、我國ノ農業ノ有様ハドウ云フ有様デアルカ是デケ研究シテ見レバドウ云フ政策ヲ執レバ宜シカト云フコトガ分ルニ相違ハナシノデアル、ソコデ此報告ヲ一ツ私ハ念ヲ入レテ聞イテ見マシタガ、繰返スト餘リ長クナリマスカラ要領ノミヲ申シマス、農商務省カラ總ノ表ヲ作ッテ見タ、一々ニ申シマセヌ結論デケ申サウト思ヒマスガ、日本ノ一段ニ對スル小作農業者ガ彼ノ工業者ト同シヤウニ賃銀ヲ拂フト致シマシタナラバドウ云フ結果ヲ得ルカト云ヘバ、一段ニ付テ五圓五十八錢二厘ノ損ガ行クト云フノデス、諸君ドウカ御聽ク願ヒタイ、是ハ私共ノ指ヘタノデハナシ、農商務省ニ作ラセテ見タノデアリマスガ、相當ニ即チ一日ニ付テ二十錢位ノ賃銀ヲ拂ウテ農事ニ掛ルトスレバ、此租稅マデヲ拂ヒ地價ニ對スル金利モ皆拂フト云フト、一段歩作ッテ而シテ收入ハ二十二圓九十七錢得ルトシテ、而シテ尙損スルトコロハ幾ラ損シテ居ルカト云ヘバ、五圓五十八錢ノ損ヲ得ルニシテ、一々給料ヲ拂フトスレバデス、ソコデ韓國ハドレ位ニナルカト云ヘバ、韓國ニナルト二圓八十八錢ノ利益ニナルト云フ勘定ガ付クノデス、モウ一ツ此柴棍トカ細甸トカ印度ノ農業ハドウカト云ヘバ、此方ハ五圓三十七錢ノ利益ヲ得ルト云フ計算ガ出デ居ルノデアリマス、暹羅ノ方デモ三圓八十錢ノ利益ヲ得ルト云フ居ル、之ヲ今日ノ賃銀ニ割付ケテ仕事ヲスルトナルト日本ノ農者ハ實ハ損ヲスル結果ガ出ル位ノ度合ニ居ルノデアル、是ハ甚ダ困ツタモノデアリマスケレドモ、幸ニシテ先祖代々此コトニ從ッテ居リマスカラ、農業者ガ自ら此不利益ヲ忍ビテ氣モ付カズニヤッテ居ルカラ出來マス、然ルニ之ニ敵對スルモノハ何物デアルカト云フト暹羅ニシテモ緬甸ニシテモ交趾支邦ニシテモ是等ノ者ハ裸體ヲ生活シテ行ケル人民、租稅ハ何程拂フカト云フト一段ニ付テ賃銀五十錢ヲ拂フニ過ギナシ、日本人ハ三圓五十錢平均ヲ拂ッテ居ル、兵隊ヲ置クデモナレバ此世界即チ吾ハ南洋方面ノ平和ヲ保ツタメニ何等ノ貢獻ヲスル人民デナシ、今一ツ申シマシタナラバ吾ハ生産物ヲ多ク買入レルト云フ地方デモナシ、僅ニ我國カラ鱗寸ガ印度地方ニ往ク位ノモノデアリマスガ、ソレモ西洋人ノタメニ近頃ハ大分負ケテ居ルノデアリマス、(朝鮮ハ如何)「ト呼フ者アリ」朝鮮ノ如キハ能ク考ヘテヤランケレバナラス、是ハ私ハ一ツ別ニ考フベキモノト思ヒマスガ、併ナガラ二回マデモ大戰爭ヲ吾ハ經テ居ル、一度ノ戰爭ヲシテ彼等今日マデノ程度ニシテヤルニハ幾ラノ金ヲ使ッテ居ルカ、幾ラノ人民ヲ失フテ居ルカ、此問題デモ先ヅ考ヘサレバ直ク分ルコトデアル、而シテ今日ノ統監政治ノ費用ハ無論、今日師團ヲ置イテ彼ヲ守ル費用ハ何程デアルカ、昨年ハ御承知デアリマセウ豫算ニ於テ一千五百萬圓バカリヲ二年ニ分ケテ貸シテヤルコトニシタ、既ニ人モ出シテヤリ、數ヘルコトモシテヤリ、金ヲ注イデヤッテ、而シテ今日ノ程度ニ導イテヤッテ居リマスカラ、吾ハ朝鮮ニ對スル又努メタリト云フベシデアル、然ラハ斯ノ如ク努ムベキコトヲ努メテ置イタ以上ハ、我國國民ノ農產物ト鈞合ヲ失フコトニナラヌヤウニ彼等ニモ努メサセル位ノコトハシナケレバナルマイト思フ、(拍手起ル)唯何カ大名ノ

若殿様デモ預ツタヤウニ大事ニサヘスレバ宜イカト思フノハ新領土若クハ保護國ノ見方ガ少シ違ヒハセカト思フ、韓國ニ於テノ米價此頃十圓ト云フコトヲ先刻淺野君ガ云ハレマシタガ、其表ニ依レバ或ハサウ見エ、韓國ト云フ國ノ米價ガ十圓ニナツタノハ何故デアルカト云ヘバ、吾政治ノ光デアル、彼ノ野蠻政治ノ半開政治デアル時代ハ、一石ガ六圓カ七圓ニ過ギナカッタデアル、今日ニ至ルニ米價ヲ保ツニ至ツタノハ畢竟我國保護ノ力デアル、即チ彼等ハ是デケル購買力ヲ有ツテ居ルノデアリマス、商工業者ハ之ニ向ツテ相當ノ運動ヲサヘスレバ利益モ亦得ラレ、斯ノ如ク考ヘテ見マスト韓國ト云フモノニ心配ヲシテ吾國ヲ保ツ所以ノ政策ヲ躊躇スル必要ハ決シテアルマイト私ハ考ヘルノデアリマス、(ヒヤ／＼)通シテ之ヲ私ガ申シマスレバ、全體日本ノ學者先生達今日此處ニ居ラレトコロノ賢明ナル諸君達モ吾々ノ此案ヲ以テ愚カナル案、若クハ愚案ト云フヤナコトヲ呼ンデ喜ンデ居ラレマス、或ハ諸君ノ賢明ヲ以テシテハ吾々ノ行動ハ愚カナリト見エカモ知レヌケレドモ、吾々ヲ以テ見レバ必シモサウデナ、元來英吉利ヲ崇拜シタコロノ學者先生達ノ教ヲ汲ムトコロノ先生達ハ唯自由貿易ヲサヘアレバ、此國ガ發達スルカノ如ク誤解シテ居ル人ガ多イデアル、(ヒヤ／＼)全ク要點ハ此處ニア、實ハ日本ノ大藏省ノ役人デモ、大學デ教ヘル教師デモ、多クハ英語ヲ以テヤツテ居ルカラ英吉利ノモノハ何デモ宜シイカノ如ク考ヘテ居ル、是ガ一ノ病デアル、又民間ノ論者モ多クハ英語ヲ讀ムカラ英吉利人ノ論ヲ金城鐵壁ノ如ク考ヘテ居ル、所ガ是ハ無理モナイ、諸君——私ニ反對スル諸君ガ英吉利ノモノヲ大層結構ト思ヒ、之ヲ金科玉條ト思フハ無理ハナイ、世界ノ多クハ斯ウ云フコトヲシテ居ル、佛蘭西デモ、那翁三世ガ軍ヲ止メテ生産ノ方ニ力ヲ用ル始メニ當ツタハ、ヤハリ英吉利ヲ學ンデ自由貿易ノ政策ヲ執ツテ來タコトガアル、現ニ先進ノ英吉利ト後進ノ佛蘭西トガ同シ者アリ、同シ場所ニ戰ツテ見タカラ、忽チ自國ノ生産力ガ競争ニ負ケテ、アノ工場モ閉ヂル、此工場モ破産スルト云フ狀態ニナツテ俄ニ其政策ヲ一變シタノデアアル、單ニ那翁三世ノミデナイ、彼ノ有名ナヒスマルクモ戰捷ノ後ニ於テ是デハナラヌ、斯ウ贅澤ニナツテハイカスト云フコトカラシテ、是モ英吉利流ノ政治ヲ執ルコトニシテ所謂「派」ノ政策ヲ執ツテ來タノデアアル、執ツテ之ヲ行ウテ見マシタケレドモ、到底其成績ヲ得ルコトガ出來ナカッタ、故ニ更ニ戻リテ自國ノ政策ヲ執ルニ至ツタ(問題外)「ト呼フ者アリ」亞米利加ハ御承知ノ通り英吉利ノ全ク殖民地デアル、云ハハ英吉利ノ子分タル國デアルケレドモ、彼ハ決シテ英吉利ノ自由貿易政策ヲ學バズシテ、確ニ彼ハ保護貿易ノ政策ヲ執ツテ今日ノ成功ヲシテ來タノデアアル、唯學者先生達ガ經濟書ヲ讀ンデ自由貿易政策ト云フモノヲケケラ覺エテ、英吉利ガ當時如何ニシテ成功シタコト云フ四國ノ狀況ヲ考ヘズニ往タカラ、間違ッテ來タ、今日ヨリ百年ノ前ニ於テハ英吉利人ハ如何ニスレバ和蘭陀人ニ追付クコトガ出來ルカ、彼ト比肩スルコトガ出來ルカト云フコトヲ標準ニシテ、ナカ／＼勉強シテ來タモノデアル、斯ノ如クニ研究スレバ和蘭陀ト云フ國ハ海運ニ富ンデ居ル國デアッテ、而シテ多クノ世界ニ殖民地ヲ有シテ居ル國デアアル、此ニツツチヤン考ヘタノガ、故ニ十九世紀ノ始メニ於テハ海賊ノ業ヲナシテ和蘭陀ノ船ヲ捕ハシ、而シテ和蘭陀ノ新領土ヲ襲ヒ、内ニハドウカシテ彼ニ追付カウ追付カウト云フノハ尙我々ガ歐羅巴人ニ追付カウ、彼ヲ駕セント云フガ如キ態度ヲ以テ進ンデ、諸種ノ發明ヲ應用シ、有テアル新器械ヲ利用シテ彼ノ製造業ヲ發達セシメタ、斯リ云フ——英吉利ノ歴史ヲ御覽ナサイ此通りニナツテ居ルニ相違ナイ、斯ウ云フ狀態ニナツテ初メテ實ハ保護貿易ヲ捨テ、所謂「モンチエスター」派ノ議論ヲ行ヒ得ルコトガアル、其場合ニ歐羅巴各國ハドウシタコト云ヘバ、マダ戰フシテ土地ヲ取リ盡シテ居ル見テ居ル場合デアル、此際進ンダカラ宜イガ今日ハ如何ト云ヘバ、今日ハ世界ガ生産政策ヲ講ズル最中デアッテ、各々己レノ國ノ

生産ヲ膨脹シ發達セシムルコトニ競争シテ居ル、此時代ヲ知ラズニ唯百年昔ノ夢ヲ御覽ナサツテ先生ノ講義ヲ凡そニシテ御間違ヲナサルハ困ツタコト、思フ(關稅政策ノコトナラコト)方ガ餘程知ツテ居ル「ト呼フ者アリ」能ク餘リ物ヲ知り過ギルト間違フ生ズルカラ世界ノ大勢ニ鑑ミテ、我國ノ結局生産ヲ十分ニ發達セシメテ、彼ノ裸坊ノ印度人ヤ緬甸人ヤ或ハ交趾支那人ノタメニ諸君ハ力ヲ盡スコトヲ止メテ、我國ノタメニ力ヲ盡サレシコトヲ望ミマス(拍手起ル)

○副議長(肥塚龍君) 鈴木力君

○伊藤大八君 討論終結ノ動議ヲ提出致シマス

(贊成々々ノ聲起ル)

(鈴木力君登壇)

(拍手起ル)

○議長ハ何故ニ登壇ヲ許スカ、討論終結ノ動議ガ出テ居ル「ト呼フ者アリ」

○議長ハ既ニ發言ヲ許シテ居ル、ヤルベシヤルベシ「ト呼フ者アリ」

○此時發言スル者多ク、議場騷然聽取スルコト能ハス

○鈴木力君 マダ演說ヲセヌ先キ……

○討論終結贊成々々「何ヲ言フテ居ル下セ」「ヤリ給ヘヤリ給ヘ」ト呼フ者アリ、議場騷然

○副議長(肥塚龍君) 靜ニ——靜ニ——靜ニ……

○討論終結討論終結「ノ聲起リ發言スル者多ク議場騷然」

○鈴木力君 本員ハ既ニ許シテ得テ登壇致シマシタ……

○討論終結討論終結「ト呼ヒ議場騷然」

○副議長(肥塚龍君) ドウゾ靜ニ願ヒマス……

○鈴木力君 マダ述ベザル前ニ諸君ガ……

○討論終結討論終結「ハ贊成ガアル何ゼ決ヲ採ラヌカ」ト呼フ者アリ、議場騷然

○副議長(肥塚龍君) 靜ニ——靜ニ——サウ騷ガヌデモ宜シ……

○鈴木力君 斯ル大問題ヲ討論終結トハ何者デ……

○討論終結討論終結「ヤルベシヤルベシ」ト呼フ者アリ、議場騷然

○副議長(肥塚龍君) 靜ニ——

○鈴木力君 吾輩ハ諸君ガ靜ニシナケレバ益、反對ヲ連ベル——之ヲ要スルニ吾輩ハ簡單ニ言フ、米一石ニ付二圓ノ稅ヲ課スルト云フハ甚ダ怪シカラヌ……

○議長騷然

○副議長(肥塚龍君) 靜ニ——

○鈴木力君 此時議長席ノ前ニ登ル議員多ク議場騷然

○鈴木力君 吾輩ハ議場ノ神聖ノタメニ云ヒマス、靜ニナル……

○議長騷然

○鈴木力君 吾輩ハ此壇上ニ登リ反對演說ヲ試ミントスルニ當ツテ(討論終結ノ動議ガ出テ居ル)討論終結ニ贊成「ヤルベシヤルベシ」ト呼フ者アリ、議場騷然(吾輩ハ肝腦地ニ塗ミルマデアル)吾輩ハ此壇上ニ於テ反對演說ノ二十分デモ二十分デモヤル權利ヲ有ツテ居ル(議場騷然)此案ニ付テ反對ノ意見ヲ聽ク程ノ雅量ガ諸君ニナイツ云フノハ何事デアル——斯ル一石二圓ノ稅ヲ課スルニ當ツテ反對ノ論ヲ聽ク雅量ガナイツ云フハ何事デアル……

(議場騷然)

○副議長(肥塚龍君) 靜ニ一諸君ニ御諮リヲ致シマス(議場騷然)其邊ハモウチツト靜ニ願ヒマス、諸君ニ御諮リヲ致シマス

○副議長(肥塚龍君) モウ少シ靜ニ諸君

〔宮古君ノトキノ先例ガアルト呼フ者アリ〕

〔議場騷然〕

○副議長(肥塚龍君) 唯今私ハ發議者トシテ鈴木君ノ名ヲ呼ビマシタ、其後ニ於テ討論終結ト云フ動議ガ出タノデアル、所ガ此議場ガ御承知ノ通り騷ガシクナッタノデアル、能ク諸君靜ニ聽イテ願ヒタイ(諸君々々ト呼フ者アリ)鈴木君ヲバ反對ノ發議者トシテ名ヲ呼ビマス、討論終結ノ動議ガ此處ニ出タコトハ諸君ガ御承知ノ通りデアル、故ニ私ハ鈴木君ニ發言ヲ許サウト思フ、思フガ諸君ガサウ騷ガシクテハ議事モ何モ出來マセヌ、甚ダ當議場ノタメ、議長不慣ノタメモアラウケレドモ、報顔ノ至リト本席ハ考ヘルノデアル、ドウウモウ少シ……

〔先決問題ト呼フ者アリ、議場騷然〕

○鈴木力君 本員ハ御蔭デ水ヲ入レマス

○副議長(肥塚龍君) ドウウモウ少シ 暫クドウツ御聽ヲ願ヒマス

〔議長ヲ懲罰ニ附スベシト呼フ者アリ〕

○副議長(肥塚龍君) 暫時ドウツ御聽キヲ願ヒマス

〔議場騷然、發言スル者多シ〕

○副議長(肥塚龍君) 大岡君何デスカ

○大岡育造君 私ハ斯ウ思フノデアル、吾ハ此問題ヲ大問題ト思ヒマス、成ルベク討論十分ニ盡シタイノデアル、ケレドモ此議場ノ全體ハマデノ傾キガ夕刻ニナルト、ナカノ長イ討論ヲ許サヌ(ノウノウ)併シナガラ成ルベク互ニ寛大ニヤリ合ハナケレバイヤナ、如何ニ口ガ利ケルカラ言ッテモ無茶苦茶ニ片隅カラ惡口ヲ言フヤウナコトヲシテ、サウシテ大政黨ヲ云々スルト云フハ無駄ナコトダ、故ニ私ハ恰モ議長ガ決セラルベキ問題ハ斯ウデハナイカト思フ、鈴木君討論ガ掛ルタメニ、アノ盧ニ登ラレ掛ケルトキニ(前ダ前ダ)默ッテ聽キ給ヘ(諸君々々ト呼フ者アリ)伊藤君ガ討論終結ノ動議ヲ出シタ

〔此時發言スル者多シ〕

○副議長(肥塚龍君) 大岡君ノ今ノ發議ハ少シ騷ガシクテ聽取兼マシタガ……

○大岡育造君 更ニ私言ヒマセウ、鈴木君ガ討論ノタメニ登ラントスルト同時ニ、伊藤君ガ討論終結ノ動議ヲ出シテ、之ニ賛成ノ聲モ多ク聽エタノデアル、ソコデ此討論ノ前ニ當ッテ討論終結ノ動議ガ出タ場合ニハ、議長ハ之ヲ先決問題トシテ採決ヲナサルガ宜ロシイ(拍手スル者アリ)暫ク御聽キナサイ

○副議長(肥塚龍君) 靜ニ願ヒマス

○大岡育造君 斯様ナコトヲ申スト、大政黨ガ何カ壓迫スルガ如ク仰シヤルケレドモ、我黨ノ人デアル宮古君モ先日サウ云フ例ニ遭ウタコトガアリマスカラ、ソレト同ジコトデアル、諸君ニ私ハ斯ウ云フコトヲ御諮リシタイト思フ、成ルベク此討論ヲ聽クノ心持ヲ御互ガ持チタイ、併ナガラ此討論終結ノ動議ガ出タ以上ニハ、之ヲ起立ニ問フコトハ議長ガシナケレバナラヌト思フ

○副議長(肥塚龍君) ソレハ答辯ヲ致シマス、御靜ニ 唯今ノ大岡君ノ發議ニ對シテハ 唯今ノ大岡君ノ發議ニ對シテハ此席ヨリシテ一言述ベテ置カネバナリマセヌノハ、鈴木力君ト云フ發言ノ後ニ、其邊カラ討論終結ノ動議ガ出タノデアル、決シテ鈴木力君ヲ呼バヌ先ニ出タノデハナイ、ソコハ私ガ 其邊ノ所ハ御承知ヲ願ヒタイノデアル

〔マダ發言ガ無イデアアリマセヌカ〕副議長ヲ懲罰ニ付スベシト呼フ者アリ、議場騷然)

○鈴木力君 我輩ハ毎度運惡ルクイッデモコンナ目ニ遭ヒマスガ、此儘私ニ止メサセテハ大政黨ノ名譽ヲ毀チハシナイカ、拙者ノ雄辯ヲ忍レテ諸君ガ妨害シタト云フヤウニ田舎ノ人ハ思フカモ知レヌ、豈ッテシテ名ヲ成サシムルコトニ至リハセヌカ、宜シク大政黨ノ襟度ヲ以テ……

〔議場騷然〕

○副議長(肥塚龍君) 諸君ガ御聽キニナッタデアラウト思ヒマス、ケレドモ、現ニ書記官長モ皆知ッテ居ルノデゴザイマス、鈴木力君ト云ッタノハ一番先デアルノデアアルカラ如何デセウ、一應鈴木君……

〔先決問題ト呼フ者アリ、發言スル者多シ〕

○河野廣中君 チョット伺ヒマスガ、御許シニナッタノデアリマスカ、ナラヌノデアリマスカ

○副議長(肥塚龍君) 許シタノデアリマス

〔拍手起ル、議場騷然〕

○鈴木力君 本案ハ百斤ニ付テハ八十六錢、即チ一石ニ換算致シマスルト丁度二圓ト……

〔議場騷然〕

○副議長(肥塚龍君) ドウカ諸君許シマシタ後トデノ討論終結デスカラ、此演說ヲ許スノハ當然デアルト思ヒマス

〔立川雲平君 斷然我輩ハ服セヌ、議長ノ宣告ニ服セヌ、討論終結ノ動議ガ出タ以上ハ此解決ノ付クマデハ議事ヲ進行スルコトハ許サヌト呼フ、議場騷然、亂暴ノ議員ヲ退場サスベシ〕戰フベシノ(斷ジテアルベシト呼フ者アリ、議場騷然)

○鈴木力君 ヤリマスー即チ一石ノ頭デハ二圓——約二圓ノ増額ニナルノデアリマス、然ルニ日本ノ食料ハ一般ノ上ニ付テハ二萬石以上ハ是非共足ラヌノデアリマスカラ、此足ラヌト云フモノハ必ズ……議長々々ト連呼スル者アリ(議場騷然)外國米ヲ要求スルノデアアルカラ、自衛上此一石ニ付テ二圓ト云フモノハ日本全國ノ需用米ノ價ヲ上グルコトニナル……

〔議場騷然〕

○副議長(肥塚龍君) 暫時休憩致シマス

午後五時十五分休憩

午後五時五十七分開議

〔鈴木力君登壇〕

○副議長(肥塚龍君) 諸君マダ議事ハ結了致シマセヌケレドモ、最早十八時ニナリマスカラ、衆議院規則第七十四條ニ依リ延會致シマス

〔鈴木力君 議場ハ今日限リニアラズト呼フ(拍手スル者アリ、笑聲起ル)〕

○副議長(肥塚龍君) 次回ノ日程ハ公報ヲ以テ御通知致シマス

午後五時五十八分散會

衆議院議事速記第十九號正誤

頁	段	行	誤	正
三九一	下	一〇	或ハ下野	正
三九二	下	二二	線	塚
三九二	上	一三	買ッテナクト	買ッテナリ
三九二	上	一三	モ	トモ